

アセスメントツール集目次

<幼児期用発達チェックリスト>

ことばの発達チェック（乳幼児版）	1
運動・からだの発達チェック（乳幼児版）	2
認知・認識力の発達チェック（乳幼児版）	3
生活の発達チェック（乳幼児版）	4

<学齢期用発達チェックリスト>

言葉の発達チェック（学齢児版）	5
運動機能の発達チェック（学齢児版）	6
かずの発達チェック（学齢児版）	7
生活の発達チェック（学齢児版）	8
仕事・作業の発達チェック（学齢児版）	9

<成人期用発達チェックリスト>

生活応援支援チェックシート	10
---------------	----

<日常生活における発達チェックシート>

生活と遊びによる発達チェック	22
ままごと遊びによる言語コミュニケーションチェック	25
絵本による言語コミュニケーションチェック	29
特研版言語・コミュニケーション観察チェックリスト	32

<知的障害者のためのチェックリスト>

知的障害者精神状態テスト・マニュアル	34
精神状態テスト書式	47
知的障害者のための記憶評価法	53
知的障害者の記憶力に関する日常チェックリスト	55
生活適応支援チェックリスト	57

<学校生活におけるチェックリスト>

特研版集団適応評定スケール	80
自己概念の初期段階の発達測定尺度（他者評定）	82

<運動能力・行動チェックリスト>

運動能力アセスメント・測定マニュアル	83
運動能力アセスメント・記録用紙	85
I MDチェック：ダウン症乳幼児運動発達チェックリスト	86
SMBチェック：ダウン症学齢児運動行動チェックリスト	87
SMFテスト	88
AMBチェック：ダウン症成人運動行動チェックリスト	89
AMFテスト	90

<利用者アセスメント表>

利用者アセスメント要約表	91
--------------	----

ことばの発達チェック(乳幼児版)

ことばの理解や表出について、現在のお子さんにみられるものをチェックして下さい。
(お子さんの年齢に関わらず、該当するものは全てチェックして下さい。)

1. 要求や拒否などで発声する
2. 身振りやジェスチャーで表現する
3. 単語でのみ発話をする(例:マンマ、ブーブ、アイス)
4. 二語文で発話する(例:ブーブあった)
5. 単語をいくつか並べて多語文で発話する(例:パパ、会社いったよ)
6. 複文の発話ができる(例:ママがあっち行っちゃダメよって、僕に言ったよ)

0～1歳 レベル	<input type="checkbox"/> 音声や環境音への反応がある <input type="checkbox"/> くすぐりや語りかけ、いないあにばあなどで声を出して笑う	<input type="checkbox"/> 「だめ」という言葉に反応する <input type="checkbox"/> 他人が発した音声をまねする(ブー、パパパ・・・など)
1～2歳 レベル	<input type="checkbox"/> 簡単な指示に従う、動作模倣ができる(「箱の中に〇〇入れて」「体操をまねる) <input type="checkbox"/> 1, 2語簡単な言葉をまねて言える	<input type="checkbox"/> 目、鼻、足、口、手、お腹の内4つ以上指し示すことができる <input type="checkbox"/> 呼名に対して「はい」と答える
2～3歳 レベル	<input type="checkbox"/> 「大きい」「長い」がわかる <input type="checkbox"/> 絵本にある車、バナナ、帽子、はさみなどを指されて答える	<input type="checkbox"/> 「字を書く物、掃除をする物、紙を切る物、水を飲む物」で鉛筆、ほうき、はさみ、コップを指し示せる <input type="checkbox"/> 自分の姓名、性別が言える
3～4歳 レベル	<input type="checkbox"/> 食べる物、動物はどれ?と聞かれて、絵本の中の食物や動物を指し示せる <input type="checkbox"/> ままどと、電話ごっこ遊びなどで役になって交互に言葉でやりとりできる	<input type="checkbox"/> 「大きなカブ」「3匹のヤギのガラガラドン」の絵本を最後まで聞ける <input type="checkbox"/> 3語文をまねして言える(「お母さんが洗濯をしています」など)
4～5歳 レベル	<input type="checkbox"/> 上、下、前、後ろが理解できる <input type="checkbox"/> 動物や色の名称を思い出して4つ以上言える	<input type="checkbox"/> 自分の名前の平仮名が読める <input type="checkbox"/> しりとり遊びができる(「か」のつく言葉は何?で答える)
5～6歳 レベル	<input type="checkbox"/> 左手、右耳、左目はどこ?と聞かれて正しく指し示せる <input type="checkbox"/> 平仮名を一字ずつ拾い読みする	<input type="checkbox"/> 曜日をすべて知っている <input type="checkbox"/> 自分の名前や数字を書く
6～7歳 レベル	<input type="checkbox"/> 春夏秋冬がわかり、その季節の絵を指し示せる <input type="checkbox"/> 絵本や紙芝居を見て、人物や動作について正しく叙述することができる	<input type="checkbox"/> 3種類の動作を一度に言われ実行できる(「立って、イスの上に箱をおいて、ボールを先生に下さい」など) <input type="checkbox"/> 必要に応じて電話をかけて話ができる

運動・からだの発達チェック(乳幼児版)

身体運動や手先の運動について、現在のお子さんにみられるものをチェックして下さい。
(お子さんの年齢に関わらず、該当するものは全てチェックして下さい。)

- 身体において、医者から指摘された問題や障害は特にない。
- 腕や足、指、などに奇形や機能障害がある。
- 合併症などにより、体をたくさん動かすことや運動に制限がある。

0～1歳 レベル	<input type="checkbox"/> 座位が一分以上保持できる <input type="checkbox"/> つたい歩きができる	<input type="checkbox"/> 細長い棒状の物を少しの間握っている。 <input type="checkbox"/> 指先で落ちている物を拾うことができる。
1～2歳 レベル	<input type="checkbox"/> 一人で歩くことができる <input type="checkbox"/> 体操をまねて、手、足、体をリズムに合わせて動かす	<input type="checkbox"/> ひも通し、ビーズ通しを1、2個通すことができる <input type="checkbox"/> 鉛筆でぐるぐる描きができる
2～3歳 レベル	<input type="checkbox"/> 両足でピョンピョンとぶ <input type="checkbox"/> 足を交互に出して階段を昇る	<input type="checkbox"/> 縦線、横線を模倣して描ける <input type="checkbox"/> はさみを使って、紙、布を直線に切れる
3～4歳 レベル	<input type="checkbox"/> ヨーイドンの合図を聞いて走り出すことができる <input type="checkbox"/> 片足で静止して、5秒ぐらい立っている	<input type="checkbox"/> 折り紙などにのりをつけて貼ることができる <input type="checkbox"/> 「+」字の模写が正確にできる
4～5歳 レベル	<input type="checkbox"/> 片足ケンケン飛びができる <input type="checkbox"/> スキップを正しく行う	<input type="checkbox"/> はさみで簡単な図形を切り抜く <input type="checkbox"/> 「3」を両手の指で作れる(人差し指、中指、薬指のみを立てる)
5～6歳 レベル	<input type="checkbox"/> 足の位置を移動せずに、ボールを三回以上ドリブルすることができる <input type="checkbox"/> 目を開けて片足で10秒以上立つ	<input type="checkbox"/> ひも結びができる <input type="checkbox"/> はしが上手に使える
6～7歳 レベル	<input type="checkbox"/> 補助輪なしの自転車に乗れる <input type="checkbox"/> 3mほど離れた位置でキャッチボールができる	<input type="checkbox"/> ひし形(◇)の模写が正確にできる <input type="checkbox"/> 両腕を伸ばし、左右交互に拳をつくり、また開く、の繰り返しができる

認知・認識力の発達チェック(乳幼児版)

周囲への理解力や物への関心、操作について、現在のお子さんにみられるものを
チェックして下さい。

(お子さんの年齢に関わらず、該当するものは全てチェックして下さい。)

0～1歳 レベル	<input type="checkbox"/> カップや箱の中に小さめの積み木やブロックを10個くらい入れる <input type="checkbox"/> 玩具の電車や車などを、手で走らせて遊ぶ	<input type="checkbox"/> 玩具を差し出すと、すぐに手を出してつかむ <input type="checkbox"/> 目の前でハンカチで隠された玩具を取り出す
1～2歳 レベル	<input type="checkbox"/> 3つのカップや箱をかぶせて、子どもの見ている前でその内の一つの玩具を隠し1度目で探しあてることができる <input type="checkbox"/> 犬、ボール、自転車、茶碗、人形などを 絵本の中で探して指さしできる	<input type="checkbox"/> ●▲■の型はめができる <input type="checkbox"/> 小さめの積み木を3つ以上積み上げて塔がつかれる
2～3歳 レベル	<input type="checkbox"/> 8種類以上の絵をマッチング(同じ絵どうしを合わせる)ができる <input type="checkbox"/> 物の大小が理解でき、「大きい方どっち？」と聞かれ指し示せる	<input type="checkbox"/> 2色(黒や白など)の基石やおはじきを色別に箱やお皿に分類できる <input type="checkbox"/> 2片のパズル(人の顔や自転車、黒丸など)を合わせて一つの絵をつくれる
3～4歳 レベル	<input type="checkbox"/> 「7-5-9」などの3つの数字を言って、正しい順序通りに復唱できる <input type="checkbox"/> 3つまでの個数を数えることができる(何個？と聞かれて、3個と正しく回答)	<input type="checkbox"/> 簡単な単線で描かれた絵で、一部分足りないところを、ペンでつないで書くことができる <input type="checkbox"/> 丸を描き、目や口、鼻などをつけて不完全ながら顔らしく描くことができる
4～5歳 レベル	<input type="checkbox"/> 「目または耳は何をするもの？」に、「見るもの」や「聞く」などと言葉で回答できる <input type="checkbox"/> おはじきなどを13個くらいまで正しく数えられる	<input type="checkbox"/> 30cmほどの距離で3～4回曲がってゴールする迷路(他にも行き止まりの道があるもの)を指でなぞって間違わずにたどれる <input type="checkbox"/> 電車や花などの思った物をほぼわかるように絵を描く
5～6歳 レベル	<input type="checkbox"/> 「6-5-3-7」などの4つの数字を言って、正しく順序通りに復唱できる <input type="checkbox"/> 「野原は明るい、森の中は？」「ジェット機は速い、船は？」の質問に反対語の「暗い」「遅い」と回答できる	<input type="checkbox"/> サイコロの目がわかる <input type="checkbox"/> カセットテープデッキやビデオを正しく操作できる
6～7歳 レベル	<input type="checkbox"/> 「2-9-5」と言われ、後ろから「5-9-2」と逆唱で答えられる <input type="checkbox"/> 見えないように机の下を7回、5回、8回たたいて、頭の中で数えて全部答えられる	<input type="checkbox"/> 聞いたことを絵にする(それらしく描ければよい) <input type="checkbox"/> 「今日は何月何日？」がわかる

生活の発達チェック(乳幼児版)

食事、排泄、着替えなどの生活習慣について、現在のお子さんにみられるものを
チェックして下さい。

(お子さんの年齢に関わらず、該当するものは全てチェックして下さい。)

0～1歳 レベル	<input type="checkbox"/> ビスケットなどを自分でもって食べられる <input type="checkbox"/> コップから上手に飲む	<input type="checkbox"/> 機嫌のよいときは、独りでしばらく遊んでいる <input type="checkbox"/> よく抱いたり遊んでくれる人を見ると、自分から体を乗りだして要求する
1～2歳 レベル	<input type="checkbox"/> 自分でスプーンを持って、すくって食べる <input type="checkbox"/> 靴が自分で脱げる	<input type="checkbox"/> 物を片づけるのを手伝う <input type="checkbox"/> お父さんやお母さんに物を食べさせて喜ぶ
2～3歳 レベル	<input type="checkbox"/> おしっこや大便を教える <input type="checkbox"/> ほとんどこぼさないで食べる	<input type="checkbox"/> 衣服の着脱を自分でしたり、大きめの丸首シャツは一人で脱ぎ着ができる <input type="checkbox"/> 歯を磨く(不完全ながらも歯ブラシをあててこする)
3～4歳 レベル	<input type="checkbox"/> 自分でパンツを脱いでおしっこをする <input type="checkbox"/> 「玩具を貸してあげなさい」と言うと指示に従える	<input type="checkbox"/> 食事の時、大人が許可するまで待ってられる <input type="checkbox"/> 頼むと食器を並べたり、台所まで運ぶ
4～5歳 レベル	<input type="checkbox"/> 入浴後、自分で体をふく <input type="checkbox"/> 洋服の前のボタンを自分ではめる	<input type="checkbox"/> 大便の後、自分でおしりがふける <input type="checkbox"/> 食卓でほとんど大人の世話にならないで食べる
5～6歳 レベル	<input type="checkbox"/> 自分で頭が洗える <input type="checkbox"/> 寝る前に自分からトイレに行く	<input type="checkbox"/> 親に行き先を行ってから遊びに行く(家の中の違う場所や近所の公園など) <input type="checkbox"/> 自分一人で着脱ができ、大人の手をほとんどかけない
6～7歳 レベル	<input type="checkbox"/> 「ここで待っていてね」と言われて15分くらいじっと待てる <input type="checkbox"/> 手ぬぐいや雑巾をしばる	<input type="checkbox"/> いたずらして叱られると、次からやらない <input type="checkbox"/> 初対面の人に自分から挨拶ができる

言語の発達チェック（学齢児版）

ことばや文字の理解・読みや表出・書きについて、現在のお子さんにみられるものを
チェックして下さい。

（お子さんの年齢に関わらず、該当するものは全てチェックして下さい。）

1. 要求や拒否などで発声する
2. 身振りやジェスチャーで表現する
3. 単語でのみ発話をする(例:マンマ、ブーブ、アイス)
4. 二語文で発話する(例:ブーブあった)
5. 単語をいくつか並べて多語文で発話する(例:パパ、会社いったよ)
6. 複文の発話ができる(例:ママがあっち行っちゃダメよって、僕に言ったよ)

0～1歳 レベル	<input type="checkbox"/> 他者が発した音声をまねする (ブー、パパパ・・・など)	<input type="checkbox"/> 「だめ」という言葉に反応する
1～2歳 レベル	<input type="checkbox"/> 呼名に対して「はい」と答える	<input type="checkbox"/> 簡単な指示に従う、動作模倣ができる (箱の中に〇〇を入れて)「体操」をまねる)
2～3歳 レベル	<input type="checkbox"/> 自分の姓名、性別が言える	<input type="checkbox"/> 「字を書く物、掃除をする物、紙を切る物、水を飲む物」で鉛筆、ほうき、はさみ、コップを指し示せる
3～4歳 レベル	<input type="checkbox"/> ままどと、電話ごっこ遊びなどで役になって交互に言葉でやりとりできる	<input type="checkbox"/> 「大きなカブ」「3匹のヤギのガラガラドン」の絵本を最後まで聞ける
4～5歳 レベル	<input type="checkbox"/> しりとり遊びができる (「か」のつく言葉は何?で答える)	<input type="checkbox"/> 自分の名前の平仮名が読める
5～6歳 レベル	<input type="checkbox"/> 平仮名を一字ずつ拾い読みする	<input type="checkbox"/> 自分の名前や数字を書く
6～7歳 レベル	<input type="checkbox"/> 絵本や紙芝居を見て、人物や動作について正しく叙述することができる	<input type="checkbox"/> 3種類の動作を一度に言われ実行できる (「立って、イスの上に箱をおいて、ボールを先生に下さい」など)
7～8歳 レベル	<input type="checkbox"/> 何も見ずにその日の曜日や月日、自分の誕生日を正しく言える	<input type="checkbox"/> 身近な事柄について、簡単な文章が書ける
8～9歳 レベル	<input type="checkbox"/> 「犬」「大きい」「馬」の3語を使って意味の通る正しい文にして言える(回答例:大きい馬と、犬が走っている)	<input type="checkbox"/> 「マフラー、オーバー、手袋」や「竹、アサガオ、大根」の3語の共通点について正確に指摘することができる
9～10歳 レベル	<input type="checkbox"/> 場と人に応じた適切な言葉使いができる	<input type="checkbox"/> 「有名」「協力」「発達」「防御」の内1語以上意味を正しく理解している

運動機能の発達チェック(学齢児版)

(お子さんの年齢に関わらず、該当するものは全てチェックして下さい。)

- 身体において、医者から指摘された問題や障害は特にない。
- 腕や足、指、などに奇形や機能障害がある。
- 合併症などにより、体をたくさん動かすことや運動に制限がある。

0～1歳 レベル	<input type="checkbox"/> つたい歩きができる	<input type="checkbox"/> イスなどの高いところによじ登ることができる
1～2歳 レベル	<input type="checkbox"/> 体操をまねて、手、足、体をリズムに合わせて動かす	<input type="checkbox"/> テーブルやイスなどの高いところから飛び降りる
2～3歳 レベル	<input type="checkbox"/> 両足でピョンピョンとぶ	<input type="checkbox"/> すべり台に一人で昇りすべることができる
3～4歳 レベル	<input type="checkbox"/> ヨーイドンの合図を聞いて走り出すことができる	<input type="checkbox"/> 片足で静止して5秒くらい立っていられる
4～5歳 レベル	<input type="checkbox"/> ボールを遠くに投げられる	<input type="checkbox"/> スキップを正しく行う
5～6歳 レベル	<input type="checkbox"/> 足の位置を移動せずに、ボールを三回以上ドリブルすることができる	<input type="checkbox"/> 平均台の上を前、後ろ歩きで渡れる
6～7歳 レベル	<input type="checkbox"/> 補助輪なしで自転車に乗れる	<input type="checkbox"/> 3mほど離れた位置でキャッチボールができる
7～8歳 レベル	<input type="checkbox"/> 1mのところから走って、40～50センチの台の上に飛び上がる	<input type="checkbox"/> 目を閉じて両足の爪先で15秒以上立つ
8～9歳 レベル	<input type="checkbox"/> 目を閉じて、左右片足で10秒以上立つ	<input type="checkbox"/> 5m離れたところから投げられたテニスボールを片手で捕球できる
9～10歳 レベル	<input type="checkbox"/> 2.5mの距離にある25×25cmの的に、ゴムまりを投げつける(3回中1回できればチェックして下さい)	<input type="checkbox"/> イスに座り左右の足で足ぶみをしながら右足の調子に合わせて、両手で同時にひざをたたく

かずの発達チェック(学齢児版)

認識力や数の能力について、現在のお子さんにみられるものをチェックして下さい。
(お子さんの年齢に関わらず、該当するものは全てチェックして下さい。)

0～1歳 レベル	<input type="checkbox"/> カップや箱の中に積み木やブロックを10個くらい入れる	<input type="checkbox"/> ハンカチで隠された玩具を取り出す
1～2歳 レベル	<input type="checkbox"/> 3つのカップや箱をかぶせて、子どもの見ている前でその内の一つに玩具を隠し一度で探しあてることができる	<input type="checkbox"/> ●▲■の型はめができる
2～3歳 レベル	<input type="checkbox"/> 物の大小が理解でき、「大きい方はどっち?」と聞かれ指し示せる	<input type="checkbox"/> 2色(黒と白など)の基石やおはじきを色別に箱やお皿に分類できる
3～4歳 レベル	<input type="checkbox"/> 3個までの個数を数えることができる(何個?と聞かれて、3個と正しく回答)	<input type="checkbox"/> 「7-5-9」などの3つの数字を言って、正しく順番通りに復唱できる
4～5歳 レベル	<input type="checkbox"/> おはじきを13個くらいまで正しく数えられる	<input type="checkbox"/> 30cmほどの距離で3～4回曲がってゴールする迷路(他にも行き止まりの道があるもの)を指でなぞって間違わずにたどれる
5～6歳 レベル	<input type="checkbox"/> 「2-5-9」と言われ、後ろから「5-9-2」と逆唱で答えられる	<input type="checkbox"/> 5以下のたし算ができる
6～7歳 レベル	<input type="checkbox"/> 見えないように机の下を7回、5回、8回たたいて、頭の中で数えて全部答えられる	<input type="checkbox"/> 時計の針を見て時刻がわかる
7～8歳 レベル	<input type="checkbox"/> 外見上は同じに見える5つのおもりを、手で持って調べて、重い順に並べることができる	<input type="checkbox"/> 「お菓子を4円で買って10円渡したらお釣りはいくら?」などお釣りの質問に6円と正しく答える
8～9歳 レベル	<input type="checkbox"/> 「あめを3個ずつ4人に配りました。配ったあめは全部で何個ですか?」に12個と正答する	<input type="checkbox"/> 円、三角形、正方形、長方形がわかり、それらを書くことができる
9～10歳 レベル		<input type="checkbox"/> 簡単なグラフや図、○×などの表を読みとったりかいたりできる

生活の発達チェック(学齢児版)

食事、排泄、着替えなどの生活習慣について、現在のお子さんにみられるものを
チェックして下さい。

(お子さんの年齢に関わらず、該当するものは全てチェックして下さい。)

0～1歳 レベル	<input type="checkbox"/> パンやビスケットなどを自分で手に 持って食べる	<input type="checkbox"/> コップから上手に飲む
1～2歳 レベル	<input type="checkbox"/> 自分でスプーンを持って、すくって 食べる	<input type="checkbox"/> 側についたり、手をつないだりして、 20～30分外出ができる
2～3歳 レベル	<input type="checkbox"/> ほとんどこぼさないで食べる	<input type="checkbox"/> 衣類の着脱で、大きめの丸首シャツ は 一人脱ぎ着ができる
3～4歳 レベル	<input type="checkbox"/> 自分でパンツを脱いでおしっこをする	<input type="checkbox"/> 頼むと食器を並べたり、台所まで運ぶ
4～5歳 レベル	<input type="checkbox"/> 洋服の前のボタンを自分ではめる	<input type="checkbox"/> 大便の後、自分でおしりがふける
5～6歳 レベル	<input type="checkbox"/> 自分一人で着脱ができ、大人の手を ほとんどかけない	<input type="checkbox"/> 大人に行き先を言って遊びに行く (家や校内の違う場所や近所の公園 など)
6～7歳 レベル	<input type="checkbox"/> 「ここで待っていてね」と言われて15 分くらいじっと待てる	<input type="checkbox"/> いたずらして叱られると、次から やらない
7歳 以上 レベル	<input type="checkbox"/> 電車の切符を自分で買える	<input type="checkbox"/> 学級会などで自分の意思が述べられ る

仕事・作業の発達チェック(学齢児版)

**食事、排作業学習や仕事などにおける技能や態度、行動について、
現在のお子さんにみられるものをチェックして下さい。**

(お子さんの年齢に関わらず、該当するものは全てチェックして下さい。)

0～1歳 レベル	<input type="checkbox"/> 鉛筆やペンをしっかり持って、ぐるぐる がきができる	<input type="checkbox"/> 指先で物をつまむことができる
1～2歳 レベル	<input type="checkbox"/> ひも通し、ビーズ通しを1, 2個通すこ とができる	<input type="checkbox"/> コップからコップやバケツに水や砂な ど移しかえる
2～3歳 レベル	<input type="checkbox"/> はさみを使って、紙、布を直線に切れ る	<input type="checkbox"/> 縦線、横線を模倣して描ける
3～4歳 レベル	<input type="checkbox"/> 折り紙や紙にのりをつけて貼ることが できる	<input type="checkbox"/> 指示された通りに物をいつものある場 所に片づけたり、指示された場所に 運ぶ
4～5歳 レベル	<input type="checkbox"/> はさみで直線や曲線の入った簡単な 図形を切り抜く	<input type="checkbox"/> ●▲■の図形を正しく視写ができる
5～6歳 レベル	<input type="checkbox"/> のこぎりで木を切ることができる	<input type="checkbox"/> ひも結びができる くかた結びやちょう結び>
6～7歳 レベル	<input type="checkbox"/> ぞうきんやタオルをしっかりしぼれる	<input type="checkbox"/> 36枚のカルタを1分以内に机上の4 箇所につむことができる
7歳 以上 レベル	<input type="checkbox"/> カッター、包丁やナイフなどの刃物を 注意して扱える	<input type="checkbox"/> 必要に応じて要件や要点をメモできる (連絡帳に自分で必要事項の記入を したり、メモを残して伝言できる)

生活適応支援チェックシート(主に成人用)

※複数選択する質問と、一つだけ選択する質問があります。よく注意して回答して下さい。

1. コミュニケーション編

(1) 表現 ※少しでも言葉が言える場合は、全部にチェック(レ点)を入れて下さい。

- 嬉しい気持ちを、うなずいたり、ほほえんだりしてあらわす
- 空腹をうったえる
- 身振りや音声で、要求をうったえる
- 嬉しいときに、含み笑いをしたり、声を出して笑う
- 音声によって、喜びや怒りを表現する

(2) ことば

- 公園へ行くと道などを論理的に、正しく説明できる
- しりとり遊びができる
- 昨日の事の話ができる
- 見聞きしたことを話せる
- 「あの人は何をしているのかな？」と尋ねると、正しく答える
- 「あれ」「これ」「あっち」等の代名詞を使う
- 名前を呼ばれると「ハイ」と返事をする
- 意味のある語彙の表出ができない

(3) 話し方

- 話し声が低かったり、弱かったり、小さかったりして、聞き取りにくい
- 話し方が遅かったり、うまく話せなかったり、話すときに非常に苦勞したりする
- 早口で聞き取りにくい
- 話す時にとぎれたり、つかえたり、不規則に中断したりする。(どもりなど)
- 発音が不明瞭で、聞き取りにくい

(4) 話し言葉

- 「……だから～」や「しかし～」などを使った複雑な文章を、しばしば書いたり話したりする
- 「なぜ」、「どう」、「何が」などの語を使った質問をする
- 3語以上を使った単文で話す
- 話しても不完全な文章でしかない
- 単語のみの発話

(5) 挨拶や丁寧な対応

- 年上の人には丁寧な言葉を使って挨拶や会話ができる。(適切な対応が可能)
- 初対面の人に言葉を使って自分から挨拶ができる
- 言葉を使って日常の挨拶ができる
- 促されると言葉による挨拶ができる
- 発語はないが、頭を下げたり身振りなどの挨拶ができる

2. 身辺処理(セルフケア)編

(1) 食事用具の使用

- 箸を使って自分でうまく食べる
- 幾分かぼすが、箸を使って自分で食べる
- フォークを使って、自分でうまく食べる
- 幾分かぼすが、フォークを使って自分で食べる
- スプーンを使って、自分でうまく食べる
- 幾分かぼすが、スプーンを使って自分で食べる
- 指で食べる
- まったく自分では食べられない

(2) 飲むこと

- 片手でコップを持ち、こぼさずに飲む
- 手をかさなくても、茶碗やコップで、うまく飲む
- 幾分かぼすが、手をかさなくても茶碗やコップで飲む
- 手助けしないと、茶碗やコップでは飲めない

(3) 食事作法

- 食べ物を噛まずに、飲み下す
- 口を開けたまま食べ物を噛む
- 食べ物を口のまわりにいっぱいつけたり、食卓や床にこぼしたりする
- 主食と副食を交互に食べない
- 食べ物を口にいっぱい詰め込んだまま、おしゃべりする
- 人の皿から食べ物を取る
- 食べ方が速すぎたり、遅すぎたりする
- 食事中、脇見をしたり席を離れたりする
- この人にはあてはまらない。(ベットに寝たきりで流動食しか食べないような場合など)

(4) 排泄習慣

- 昼夜を問わず、大小便の失敗をけっして起こさない
- 昼間に大小便の失敗をすることはない
- 昼間でも、時に大小便の失敗をするときがある。(まれな時も含む)
- 昼間でも、しばしば大小便の失敗がある
- まったく排泄のしつけができていない

(5) 着る

- 手助けしないと、コート・洋服・シャツなどのボタンやチャックをかけない
- 手助けしないと、コートや洋服などを着ない
- 手助けしないと、正しくクツ下をはかない
- 手助けしないと、正しく下着をつけない
- 着せてもらうのに合わせて、腕や足を曲げ伸ばししない

(6) 衣服などのひも結び・ひもほどこき

- ひもを結んだりほどいたりできる。(1重結びより複雑な結び、かた結びあるいはちょう結びなど)
- 援助されれば何とか1重結びができる
- 結んであるひもを、何とか一人で引っ張ったりしてほどくことができる
- 結んであるひもをほどこうとする意欲はあり、取り組むがほどくことができない
- 結んであるひもをほどこうとする意識が無く、むやみに引っ張って切ろうとしたり、何もしない

(7) 靴の着脱

- 手助けしないと、正しく靴をはかない。(左右を間違えたり、かかとを踏むなど)
- 手助けしないと、靴ひもを結ばない。
(ひも付きの靴をはいたことがない場合チェックして下さい)
- 手助けしないと、靴ひもをほどかない。
(ひも付きの靴をはいたことがない場合にはチェックして下さい)
- 手助けしないと、靴を脱がない
- この人にはあてはまらない。(寝たきりで靴を必要としない場合など)

(8) 荷物整理

- いつも自分の持ち物の管理をきちんとしている
- だいたいにおいて自分の持ち物の管理をしていると言ってよい
- 自分の持ち物の管理をしているとは言い切れない
- 自分の持ち物の管理を全然しない

(9) 歯磨き

- 自分でブラシに歯磨き粉をつけて、正しいやり方で、まんべんなくみがく
- とにかく自分でブラシに歯磨き粉をつけて、みがく
- 自分でみがくが、歯磨き粉をつけない
- 見ていれば、みがく
- みがく時、人の助けが要る
- 歯をみがこうともしない

(10) 髪の毛・ひげの身だしなみ

- 身だしなみに気をつかい、自分から髪を一人でとかしたり、電動ひげそりでそることができる
- 周りから言われれば、髪を一人でとかしたり、ひげを剃ることができる
- くしやひげそりの操作が十分にできず、援助されると、髪をとかしたり、ひげをそれる
- 指導員や周りの人などが髪をとかしたり、ひげをそるときに素直に協力的な態度をとる
- 指導員や周りの人などが髪をとかしたり、ひげをそることを拒否したり極端に嫌がる

(11)入浴

- 湯につかる前に、体を流さない
- 肩までちゃんとつかろうとしない
- 石鹸をつけて体を洗わない。(洗おうとはするが、まんべんなく上手に洗わない場合も含む)
- 石鹸やシャンプーをつけて頭を洗わない。(洗おうとはするが、まんべんなく上手に洗わない場合も含む)
- 風呂が熱すぎるときに、うめようとしなないし、ぬるい時に「ぬるい」とも言わない
- 「入れ」と言っても、一人で入浴しようとはしない
- 体を全部拭いてやらなければならない
- 体を自分で拭こうとするが、上手く拭けない
- この人にはあてはまらない。(まったく動けなくて、抱きかかえて入浴させてやらなければならない場合など)

(12)就寝

- 毎日決まった時間に寝る。(寝なさいと命令されるのではなく、寝る時間であることを知らせる程度で床につける)
- 就寝時間であることを伝えるだけで、一人で準備して床につける
- 就寝時間や準備まで指示したり、身支度などの援助をすることで床につける
- 就寝の準備を指導員が全て援助してあげることによって床について寝る
- 就寝時間になり、指示や身支度などの援助を指導員がしても床について寝ることが難しく、入眠するまで見守る必要がある

3. 家庭生活(施設生活)編

(1) 掃除

- 掃いたり、拭いたり、整頓したりして、部屋の掃除をきちんとする
- 部屋の掃除はするが、隅を掃き残したり、まんべんなく拭かなかつたりする
- まったく部屋の掃除をしない

(2) 食事の片づけ

- 壊れやすい皿やガラス器などののった食卓の後かたづけをする
- 壊れにくい食器ののった食卓の後かたづけならばする
- まったく食卓の後かたづけをしない

(3) 自室の飾り

- 花を飾ったり、自分の好きな絵を貼ったりするなど、自室をきれいに飾ったりしようとする
- 指導員や周りの人から助言されたり指示されると、自室を装飾するような行為をする
- まったく自室を飾ることには関心がない

(4) 電話の使用

- 電話帳を利用することはない
- 公衆電話を利用することはない
- 家庭用電話を利用することはない
- 電話の受け答えをしない
- ベルが鳴っても電話に出ない

(5) 家電製品の使用

- 初めて扱う場合に、説明書を見たり簡単に説明されるだけでほとんどの家電製品の使用ができる
- ガスや電気コンロ、電気ポットなどを使ってお湯をわかせる
- 掃除機や洗濯機などが扱える
- カセットデッキやCDプレイヤーを操作できる。(早送りや再生、選曲など)
- 指示されても部屋の電気をつけることができない

4. 社会的スキル編

(1) お金の扱い

- 郵便局や銀行などの金融機関を利用できる
- 正しく両替はできるが、貯金などはできない
- いろいろの種類の貨幣を合わせて、500円にできる
- お金は使うが、正しく両替することはできない
- お金は使えないが、大切なものであることは知っている
- お金が大切なものであることを知らない

(2) 買い物

- 自分の衣類は自分で買う
- 自分の身につけるアクセサリなどの小物は、自分で買う
- そばについていなくても、お菓子や飲み物などの簡単な買い物をする
- ついていてやれば、買い物をする
- つきっきりで見ているやれば、買い物をする
- 買い物をしない

(3) 集会への参加

- 積極的に集会に参加し、規則に従って順番を守ったり、意見を適切に言うことができる
- ある程度は集会などに参加できるが、消極的であったり、引きこもったり、迷惑な行動や非協力的な行動をすることがある
- 集会などには参加したがらず、参加しても適切な集団行動ができない
- 話す時にとぎれたり、つかえたり、不規則に中断したりする。(どもりなど)
- 発音が不明瞭で、聞き取りにくい

5. コミュニティ(地域)資源の利用編

(1) 移動

- 自分の住んでいる町内(地区内)ならば、迷わずに歩きまわることができる
- 迷わずに施設や学校の敷地内を歩きまわったり、家から数軒離れたところへ行ける
- 宿舎内、家の敷地内ならば歩きまわることができる
- 同じ建物でも、いつも生活しているところをちょっとでも離れると、迷子になってしまう

(2) 交通機関の利用

- 一人では長距離電車や長距離バスに乗れない
- 一人ではタクシーに乗れない
- 知らないところへの地下鉄や路線バスや電車などに乗れない
- 以前に連れていかれたような、良く知っているところへの地下鉄や路線バスや電車などにも乗れない
- この人にはあてはまらない。(移動不可能の場合など)

6. 自律性(自己指南)編

(1) 自発性

- 指示されなくても、ほとんどのことは自発的にする
- 自分がやるべきことの指示を求める
- きまりきったことなら、いちいち指示されなくてもする
- 指示されなければ何もしない

(2) 志向性

- 強制しないと何もしない
- 何もやる意欲がない
- 何事にも関心を示さない
- 途中で遊んだりして、やるべきことを最後までしない
- 人の助けを必要以上に求める
- この人にあてはまらない。(全面的な介護を必要とする場合など)

(3) 中断や新たな仕事に対する耐性

作業中の課題を中断させ、別の課題に移行させられた場合、

- 不安や不満の徴候をみせず、別の課題にスムーズに移行できる
- 不安や不満の徴候を示し別の課題に取りかかるのをしぶるが何とか取り組める
- かなり不満や抵抗を示し、しばらくの間は困難であるか、全く無理である
- 課題への意欲や理解力が低いため、特に不安や抵抗を示さない

(4) 活動意欲

- 与えられた課題は不平・不満などをみせず、指示されなくとも取り組むことができる
- 与えられた課題にすぐに飽きたり不平・不満の態度や表情をみせることが多い
- 課題を与えられても、励ましや指示がないとやろうとしない

(5) 仕事の責任感

頼まれた仕事は、

- 内容が不十分の場合があるが、最後までやり通す
- ほとんど途中で勝手にやめてしまうことが時々ある
- ほとんど途中で勝手にやめてしまう

(6) 作業中の仲間からの影響

- 他の人がすぐそばにいても、影響されることなく作業を続けることができる
- 他の人がすぐそばにいと、作業に集中できなかつたり、視線を回避するなどの不満げな行動を示し作業効率が低下する
- 他の人がすぐそばにいと、不適応行動を示し、著しく作業効率が低下する

7. 健康と安全編

(1) 食に関する問題

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 著しい偏食がある | <input type="checkbox"/> 拒食をしばしばする |
| <input type="checkbox"/> 異食をすることがある | <input type="checkbox"/> 反芻をする |
| <input type="checkbox"/> 盗食をしばしばする | <input type="checkbox"/> 嘔吐することが多い |
| <input type="checkbox"/> 過食傾向にある | <input type="checkbox"/> 多飲がみられる |

(2) 排泄に関する問題

- 夜尿をしばしばする
- 放尿をしばしばする
- トイレなどで壁に便ぬりや便いじりをする

(3) 睡眠に関する問題

- 床に入っても寝つきが悪いことが多い
- 朝、著しく早く起きる
- 夜中に起きてウロウロと徘徊する
- 一晩中起きてウロウロと徘徊することがある

(4) 破壊行為、器物破損

- 特別に物を壊そうとは思っていないが、もののはずみで壊してしまうことが多い
- こだわりの病状として破壊を行う
- 自分の要求が通らなかつたり、自分のペースで事が運ばなかつた時に物を壊すことがある
- 注意されたり叱られたりした後に、ストレスの発散や仕返しの意味で物を壊す

(5) 自傷

- 自分の要求が通らなかつたり、自分のペースで事が運ばなかつた時に自傷する
- 指示されたことをしないで、その後に自傷をする
- 周囲の人に自分の要求を伝えるために自傷をする
- こだわりとしての自傷をする
- 特に理由なく自傷をする。(自己刺激行動としての自傷)

(6) 奇声、大声

- 何かをするように指示された時に奇声や大声を出す
- 奇声や大声を出す時間や時期に波がある
- 自分のしたいことができなかつたり、欲しい物が手に入らなかつたときに奇声や大声を出す
- 仲間から干渉や攻撃を受けたり意地悪されたときに奇声や大声を出す
- よく理由が分からない場合に奇声や大声を出す

(7)固執傾向に関する問題

- 特定の物にこだわる。(物をもって歩く、触りにいくなど)
- 特定の人にこだわる。(その人を頻繁に見に行く、その人がいないと落ち着かないなど)
- 活動や生活の時間や時刻にこだわる。(決まった時刻に食事をしないと気がすまないなど)
- 特定の場所にこだわる。(その場所に頻繁に行く、その場所でないと気がすまないなど)

(8)痴呆または顕著な老化現象

- 老化も退行もみられず元気である
- 外見上は老化徴候が見られるが、能力や行動量は落ちておらず元気である
- 外見上には老化徴候は認められないが、能力や行動量は落ちている
- 外見上や能力の低下などから老化・退行がみられる
- 痴呆の診断を医師から受けており、病状が明らかにみられる

(9)精神医学的な病状や問題行動の全般

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 内に閉じ込もりがちである | <input type="checkbox"/> 身体ゆすり |
| <input type="checkbox"/> 無気力 | <input type="checkbox"/> 他傷。(暴力をふるう) |
| <input type="checkbox"/> 食べ過ぎ | <input type="checkbox"/> 独り言 |
| <input type="checkbox"/> 情緒的に不安定になることがある | <input type="checkbox"/> 不衛生、不潔 |
| <input type="checkbox"/> 欲求不満をうまく処理できず、物にあたりすねる | <input type="checkbox"/> 空想的発言、虚言 |
| <input type="checkbox"/> 爪かみ | <input type="checkbox"/> 嫌なことがあるとトイレによく行くなど、その場から逃避する |
| <input type="checkbox"/> 指しゃぶり | <input type="checkbox"/> 人前や適当でないところで身体を露出する |
| <input type="checkbox"/> 歯ぎしり | <input type="checkbox"/> ヒステリー |
| <input type="checkbox"/> 吃音 | <input type="checkbox"/> 被害妄想 |
| <input type="checkbox"/> 自傷 | <input type="checkbox"/> 決められたことに遅れたり、さぼったりする |
| <input type="checkbox"/> 暴言が多い | <input type="checkbox"/> 異食や特異な習癖がある |

(10)対人関係や性格、行動の特性の全般

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> がんこである | <input type="checkbox"/> 集団活動での一斉指示だけでは理解できない |
| <input type="checkbox"/> 発音が不明瞭で聞き取りづらい | <input type="checkbox"/> 感情の起伏が激しい |
| <input type="checkbox"/> 特定の物や事柄にこだわる | <input type="checkbox"/> 親しい友人がいない |
| <input type="checkbox"/> 取りかかりが遅い | <input type="checkbox"/> 交友関係が広がらない |
| <input type="checkbox"/> 急な変化を受け入れられなかったり、気持ちの切り替えがうまくできない | <input type="checkbox"/> 好きな友人につきまとう |
| <input type="checkbox"/> 集中力、持続力に欠け、すぐに飽きてしまう | <input type="checkbox"/> 友人に余計な世話をやく |
| <input type="checkbox"/> 自己中心的で、わがままである | <input type="checkbox"/> 時間やスケジュールにこだわる |
| <input type="checkbox"/> 集団活動の流れにのれない | <input type="checkbox"/> 友人をいじめる |
| <input type="checkbox"/> 思い通りにならないときや注意されると引きこもったりふくれたりする | <input type="checkbox"/> 友人からもいじめられる |
| | <input type="checkbox"/> 友人よりも職員との関わりを強く求める |

8. アカデミック・スキル編

(1) 読む

- 多少漢字のまざった本を読む
- ひらがなで書かれた文章なら、だいたい読む
- 簡単な絵本や漫画を読む
- 「非常口」、「立入禁止」、「男」、「女」などのいろいろな表示を読む
- 文字の見分けが多少はつく
- まったく文字の見分けがつかない。

(2) 作文やハガキを書く

- 身近な事柄について簡単な日記や作文を書いたり、自分から年賀状やハガキの宛名を書いて出すことができる(誤字脱字などの間違いはあっても構いません)
- 職員などから日記や作文、ハガキなどに記述する内容を、口頭で言ってもらえると自分で書くことができる
- 日記や年賀状などの決まった文章(成句)などを1～2行書くことができる(「今日は作業をしました」「あけましておめでとうございます」など)
- 日記やハガキなどの見本を呈示されると書き写すことはできる
- 文字を書くことができない

(3) 言語理解

- 平仮名46文字が全て読める
- 目と耳は両方ともどんな動きをするか知っている
- わからない字があると尋ねる
- 「お腹がすいたらどうする？」という質問に正しく答える
- 赤、青、黄、緑の全てがわかる
- 「食べ物」の名前が、9つ以上正しくわかる
- 物の名前を聞いてその絵を指摘する
- 「ちょうだい」と言うと、手に持っている物をくれる
- ことばによる指示に従うことがない

(4) 概念

- 「無駄」の意味がわかる
- 「同じ、違う」の区別ができる
- 「右、左」の区別ができる
- 「大きい、小さい」の区別ができる
- 「勝ち、負け」の区別ができる
- 上記した概念の理解ができない
- 「高い、低い」の区別ができる

(5) 数

- 30個以上のものを数える
- 「1つ」、「2つ」と言いながら、2個の物を数える
- 10個のものを数える
- 「1つ」と「たくさん」の区別がつく
- 必要があれば、4つくらいの数を処理する
- 数についての理解がまったくない

9. 余暇編

(1) 友人関係

- 数名の特定の仲間をゲームに誘ったり、会話をするなど積極的に有効を求める
- 数名の特定の仲間と交友を持とうとするが、積極的にかかわろうとせず、交流の社会的スキルが低く、長くかかわれない
- 特定の仲間と社会的なかわりをもとうとすることがない

(2) 室内趣味

- 施設内や居室でするような趣味を3つ以上もっており、一人で自由時間に援助されずに取り組んでいる
- 施設内や居室でするような趣味や好きな行為が1つ以上あり、職員に促されたり、援助されて取り組める
- 施設内や居室でするような趣味や好きな行為がなく、職員もどんな趣味や活動に誘ってよいか考慮している。(誘えばとりあえず行うが、本人の好みとは違っていることが多い)
- 何に誘っても拒否的でふらふらと歩き回ったり、特に文化的で目的々な行動をとることが難しい

(3) 室外趣味

- 施設外や庭、ホールなどでするような趣味・活動を3つ以上もっており、一人で自由時間に援助されずに取り組める
- 施設外や庭などでするような趣味や好きな行為が1つ以上あり、職員に促されたり、援助されて取り組める
- 施設外や庭などでするような趣味や好きな行為がなく、職員もどんな趣味や活動に誘ってよいか考慮している。(誘えばとりあえず行うが、本人の好みとは違っていることが多い)
- 何に誘っても拒否的でふらふらと歩き回ったり、特に運動や目的々な行動をとることが難しい

10. 仕事編

(1) 物の分類

- 数種類の部品などを呈示されて、間違えずに同じ物どうしを例示なしで指示されて箱に分類できる
- 数種類の部品などを呈示され、間違えずに同じ物どうしを例示されいくつかは分類できず
- 同じものどうしの分類ができない

(2) 分類の誤り修正

- 数種類の部品などの仕分け作業の際、いくつか間違っ て分類された物にすべて気づき直すことができる
- 数種類の部品などの仕分け作業の際、間違っ て分類された物に1～2個気づき直すことができる。(全部は修正できない)
- 間違っ て分類された物に気づくことがない

(3) 商品名のあいうえお順並べ

- 数種類の商品カード名をあいうえお順にすべて正しく並べることができる。(【あさひ】、【よみうり】、【さんけい】、【とうきょう】、【まいにち】などのカード)
- 数種類の商品カード名をあいうえお順に職員の助言により並べることができる
- 商品カード名のあいうえお順に並べることが理解できないか、文字が読めない

(4) 技能水準

- かなづち、ドライバー、ペンチ、ドリルなどの簡単な工具を適切に使用できるか、または経験がなくとも1～2度教えればすぐ使えるようになる
- 作業や活動で慣れた工具が1つ使える場合があるか、時々援助されると使うことができる
- 工具の使用は教えても理解できなかつたり、技術的に難しい

(5) 仕事の程度

- 道具や機械を使用しなければならない仕事ができる
- 庭掃除、床拭き、チリ拾いなどの簡単な仕事ができる
- まったく仕事はできない

(6) 全身の耐久性

荷物(みかん箱大、2kg程度)を

- 持って、連続30分間以上歩ける
- 荷物(みかん箱大、2kg程度)を持ち、20～30mの距離を運べる
- 荷物(みかん箱大、2kg程度)を持ち上げられない

(7) 作業の継続性

- 30分以上一人で着実に作業することができる
- 少なくとも5分間一人で着実に作業に取り組める
- 一人では作業に取り組めない

(8) 作業効率

熟知した作業を継続して行う際、

- 1時間単位の作業量を比較しても、ほぼ一定した作業効率を維持することができる
- 最初の1時間や30分の作業量とその後で差がみられる
- 作業が遅く、作業効率が一定しない

生活と遊びによる発達チェック

着替えの発達チェック

お子さんができること(以前はできたが、すでに「卒業」したものも含まれます)
をチェックしてください。

- パンツをはかせるとき両足を広げるなど、衣服の着脱の際、必要に応じて手や足を差し出す。
- 靴下を脱ぐことができる。
- 衣服の着脱を自分からしようとする。
- 服のスナップを自分ではずす。
- パジャマ、セーターなど大き目の丸首シャツを一人で脱ぎ着できる。
- ズボン、スカートを自分で脱ぐ。
- ジャンパーなどの上着を自分で着る。
- 洋服の前のボタンを自分ではめる。
- 普通の衣服の着脱が一人でできる。
- 脱いだあと服をたためる。
- 衣服の着脱に対し、大人の手をほとんどかけない。

靴はきの発達チェック

お子さんができること(以前はできたが、すでに「卒業」したものも含まれます)
をチェックしてください。

- 靴を自分からはこうとする。
- 靴が自分で脱げる。
- かかとをつぶしたままはき、歩いてしまう。
- 靴が自分ではける。
- マジックテープの靴をはける。
- マークをつければ左右を間違えずにはける。
- 靴の左右を間違えずにはける。
- 靴ひもが自分で結べる。

食事の発達チェック

お子さんができること(以前はできたが、すでに「卒業」したものも含まれます)
をチェックしてください。

- 空腹時に抱くと、口を動かして乳をほしがる。
- スプーンから飲むことができる。
- お腹がいっぱいになると、哺乳瓶を手で払いのける。
- ビスケットなどを手にもって食べる。
- コップから上手に飲む。
- あおむけでミルク瓶を手にもって飲む。
- コップ、茶碗などを両手でつかんで口に持っていく。
- スプーンを使い、自分で食べようとする。
- ミルクなどを自分ひとりで飲みたがる。手伝うと怒る。
- フォークでさしてあげたものを食べる。
- 「マンマ」などといって、空腹を知らせる。
- スプーンを使い、自分で上手に汁などを飲む。
- 茶碗、コップなどを自分で持って飲む。
- ストローで上手に飲める。
- みかんの皮などをむいて食べられる。
- 食べるものなどを両手に持っていないと満足しない。
(片方食べてしまうと代わりを欲しがる。)

- 口の中に入れる量を調節できる。
- 食事のとき、エプロンが要らない。
- 自分でフォークを使って、さしたりすくったりして食べることができる。
- 箸がつかえる。
- 食卓で、ほとんど大人の手助けにならないで食べられる。

トイレの発達チェック

お子さんができること(以前はできたが、すでに「卒業」したものも含まれます)をチェックしてください。

- トイレが「ちかい」「とおい」など、排尿の型や癖がはっきりする。
- パンツをはかせるとき、両足を広げる。
- 自分の排泄物に興味を持つ、興味をもって見ている。
- おしっこをした後で知らせる。
- おしっこ前に知らせる。(昼間は大体ぬらさない。)
- 出る前に大便をきちんと知らせる。
- 夢中になって遊んでいても、おもらしはしない。
- 夜のオムツがいらぬ。
- 自分でパンツを脱いでおしっこをする。
- 大便のあと、自分でお尻がふける。
- 自分でおしっこに行き、親の手をほとんど必要としない。
- 大便に大人がついていなくてもよい。
- 寝る前に自分からトイレに行く。

ままごと遊びの発達チェック

お子さんができること(以前はできたが、すでに「卒業」したものも含まれます)をチェックしてください。

- 「いないいないばあ」をしてあやすと、キャッキョと笑う。
- おもちゃの電話などを、手で走らせて遊ぶ。
- 積み木やブロックなどを自動車に見立てて遊ぶ。
- 人形やおもちゃの動物をおぶったり、抱いたり、話し掛けたりする。
- 砂を茶碗にいれて型をぬいたり、砂で山を作ったりして遊ぶ。
- 大人がリードしてままごと遊びができる。
- 大人に言われれば、自分のおもちゃを友達に貸して遊ぶことができる。
- 友達と、おもちゃを貸したり借りたりして遊べる。
- ままごと、お店屋さんごっこなどで、お互いに役を決めて遊ぶことができる。
- 数人の子どもたちで、組織だった遊び(警官ごっこ、野球など)をする。

お絵かきの発達チェック

お子さんができること(以前はできたが、すでに「卒業」したものも含まれます)をチェックしてください。

- 点を打つことができる。
- サインペン(マジック)を使ってかくことができる。
- 筆記具を握りしめてかくことができる。
- なぐり塗りができる。
- 短めの線をかくことができる。
- やや長めのつながった線を紙いっぱいにかくことができる。
- ぐるぐると円をかくことができる。
- 鉛筆(色鉛筆)を使ってかくことができる。
- 長い横線をかくことができる。
- 長い縦線をかくことができる。
- ひとつの円をかくことができる。
- 円の中に線や円をかくことができる。
- まねて十字をかくことができる。
- 複数の色を使って塗ることができる。

- 重ね塗りをすることができる。
- 正しい筆記用具の持ち方でかくことができる。
- まねて四角形をかくことができる。
- まねて三角形をかくことができる。
- 顔らしいものをかいて、目や口をつけることができる。
- 多くの色の中から好きな色を選ぶことができる。
- 点と点を結ぶことができる。
- ひとつの絵に複数の色を使うことができる。
- まねてひし形をかくことができる。
- 人の顔をかく際、区別させてかくことができる(ママ、パパなど)。
- 思ったものを絵にかくことができる(人、車、電車など)。
- 経験したこと絵にかくことができる。
- ぬり絵などで、線からはみ出さずに塗ることができる。
- 聞いたことを絵にかくことができる。
- 絵に合った色を使うことができる。

ボール遊びの発達チェック

お子さんができること(以前はできたが、すでに「卒業」したのものも含みます)をチェックしてください。

- 転がってきたボールが身体にあたると、つかむことができる。
- 手にしたボールを転がすことができる。
- 手にしたボールを相手に向かって転がすことができる。
- オーバーハンドで空中に投げることができる。
- オーバーハンドで相手に向かって投げることができる。
- ボールをそらすと自分で取りに行くことができる。
- キャッチボールの際、両手で取ることができる。
- ドッジボール大の大きさのボールを取ることができる。
- キャッチボールの際、片手で取ることができる。
- テニスボール大の大きさのボールを取ることができる。

絵本の読み聞かせの発達チェック

お子さんができること(以前はできたが、すでに「卒業」したのものも含みます)をチェックしてください。

- 読んであげると、絵本に関心をもって見る。
- 絵本などのページを自分でめくる。
- 乗り物や動物の本に興味をもっている。
- 気に入っている本を何度も見たがる。
- 絵本を見て、知っているものの名前を言ったり、さしたりする。
- 絵本に出てきたものを質問されて、指差しができる。
- 絵本を読んでとせがむ。
- 絵本を読んでいるように、何かしきりに言っている。
- 絵本を一人で、かなり長い間見て楽しんでいる。
- 読んであげると最後まで見ている。
- 絵本を見ながら、楽しそうに一人でしゃべる。
- 絵本を見ながら、子ども同士いろいろのことを話し合う。
- 絵本の字を意味の通じるように読む。
- まんがの本を自分で理解している。
- ひらがなの本(字を主とした本)を大体読む。

<ul style="list-style-type: none"> a. 鍋に物を入れるのみ(終了・それ以上は自分勝手に遊ぶ) b. 鍋に入れて少し動かす(操作が未熟) c. 焼くような動作を示す d. 焼いた後、遊びを発展させない(終了・他のことに注意が向く) e. 焼いた後、自分本位の遊びに発展していく(検者と無関係に遊び出す) f. 焼いた後、検者を意識しながら自分本位に遊ぶ g. 焼いた後、検者に働きかけて遊びを発展する(1回以上のやりとり) h. 焼いた後、検者に働きかけてやりとり遊びを展開する(2回以上) <p style="text-align: center;">＜後続の遊びは、焼く行為の繰り返し／皿に盛るなどの発展＞</p> <p>具体的な遊びの発展 < ></p> <p>具体的な相互交渉の内容 < ></p>	
<p>[]4. 「食べさせる(ミニチュア)」</p> <p>人形／検者</p> <p style="text-align: center;">視線; 他方向・自分の行為・検者 無発声・発声・発語() 行為後の物への笑顔・行為後の検者への笑顔</p> <ul style="list-style-type: none"> x. 食べさせない(自分勝手に遊ぶ・反応なし) o. クレーンにより検者／人形に食べさせようとする a. 検者の口に物をもっていく(終了・それ以上は自分勝手に遊ぶ) b. 検者の口にスプーンで食べさせる c. 人形の頭や顔に物をもっていく(口への意識はみられない) d. 人形の口に物をもっていく e. 人形の口にスプーンで食べさせる f. 物をのせないで人形の口にスプーンで食べさせるふりをする g. 食べさせた後、遊びを発展させない(終了・他のことに注意が向く) h. 食べさせた後、自分本位の遊びに発展していく(検者と無関係に遊び出す) i. 食べさせた後、検者を意識しながら自分本位に遊ぶ j. 食べさせた後、検者に働きかけて遊びを発展する(1回以上のやりとり) k. 食べさせた後、検者に働きかけてやりとり遊びを展開する(2回以上) <p style="text-align: center;">＜後続の遊びは、食べさせるの繰り返し／新たな遊びの発展＞</p> <p>具体的な遊びの発展 < ></p> <p>具体的な相互交渉の内容 < ></p>	
<p>[]5. 「飲ませる(ふり)」</p> <p>人形／検者</p> <p style="text-align: center;">視線; 他方向・自分の行為・検者 無発声・発声・発語() 行為後の物への笑顔・行為後検者への笑顔</p> <ul style="list-style-type: none"> x. 飲ませない(自分勝手に遊ぶ・反応なし) o. クレーンにより検者／人形に飲ませようとする a. 検者の口にコップを押しつける(終了・それ以上は自分勝手に遊ぶ) b. 検者の口にコップを近づけ傾ける(終了・それ以上は自分勝手に遊ぶ) c. 人形の頭や顔にコップをもっていく(口への意識はみられない) d. 人形の口にコップをもっていく e. 人形の口にコップをもっていき飲ませる f. 飲ませた後、遊びを発展させない(終了・他のことに注意が向く) g. 飲ませた後、自分本位の遊びに発展していく(検者と無関係に遊び出す) h. 飲ませた後、検者を意識しながら自分本位に遊ぶ i. 飲ませた後、検者に働きかけて遊びを発展する(1回以上のやりとり) j. 飲ませた後、検者に働きかけてやりとり遊びを展開する(2回以上) <p style="text-align: center;">＜後続の遊びは、食べさせるの繰り返し／新たな遊びの発展＞</p> <p>具体的な遊びの発展 < ></p> <p>具体的な相互交渉の内容 < ></p>	

Ⅱ. 模倣チェック

＜すべて検者がやってみせてから行う＞

<p>[]1. 「入れる／もる」</p>	<p>視線； 他方向・自分の行為・検者 無発声・発声・発語() 行為後の物への笑顔・行為後の検者への笑顔</p>
<p>x. 入れない(自分勝手に遊ぶ・反応なし) o. クレーンにより入れる a. 手渡されて入れる b. 机上の指定された物を入れる c. 2個の皿に指示されて2個入れる(同種同物) d. 規則に従って数個の皿に指示されて数個入れる(色、種類などに応じて) e. 入れた後、遊びを発展させない(終了・他のことに注意が向く) f. 入れた後、自分本位の遊びに発展していく(検者と無関係に遊び出す) g. 入れた後、検者を意識しながら自分本位に遊ぶ h. 入れた後、検者に働きかけて遊びを発展する(1回以上のやりとり) i. 入れた後、検者に働きかけてやりとり遊びを展開する(2回以上)</p>	<p>具体的な遊びの発展 < > 具体的な相互交渉の内容 < ></p>
<p>[]2. 「切る」</p>	<p>視線； 他方向・自分の行為・検者 無発声・発声・発語() 行為後の物への笑顔・行為後の検者への笑顔</p>
<p>x. 切らない(自分勝手に遊ぶ・反応なし) o. クレーンにより切ろうとする a. 包丁と物を触れあわせる(切る行為にはみえない) b. 包丁で物をたたく／打つ c. 切るようなしぐさをする d. 切った後、遊びを発展させない(終了・他のことに注意が向く) e. 切った後、自分本位の遊びに発展していく(検者と無関係に遊び出す) f. 切った後、検者を意識しながら自分本位に遊ぶ g. 切った後、検者に働きかけて遊びを発展する(1回以上のやりとり) h. 切った後、検者に働きかけてやりとり遊びを展開する(2回以上)</p>	<p>具体的な遊びの発展 < > 具体的な相互交渉の内容 < ></p>
<p>[]3. 「焼く／煮る」</p>	<p>視線； 他方向・自分の行為・検者 無発声・発声・発語() 行為後の物への笑顔・行為後の検者への笑顔</p>
<p>x. 入れない／焼かない(自分勝手に遊ぶ・反応なし) o. クレーンにより入れる、焼く動作をやらせようとする a. 鍋に物を入れるのみ(終了・それ以上は自分勝手に遊ぶ) b. 鍋に入れて少し動かす(操作が未熟) c. 焼くような動作を示す d. 焼いた後、遊びを発展させない(終了・他のことに注意が向く) e. 焼いた後、自分本位の遊びに発展していく(検者と無関係に遊び出す) f. 焼いた後、検者を意識しながら自分本位に遊ぶ g. 焼いた後、検者に働きかけて遊びを発展する(1回以上のやりとり) h. 焼いた後、検者に働きかけてやりとり遊びを展開する(2回以上)</p>	<p>< 後続の遊びは、焼く行為の繰り返し／皿に盛るなどの発展 ></p>

具体的な遊びの発展	<	>
具体的な相互交渉の内容	<	>
[]4. 「食べさせる(ミニチュア)」	視線; 他方向・自分の行為・検者	
人形/検者	無発声・発声・発語()	
	行為後の物への笑顔・行為後の検者への笑顔	
<ul style="list-style-type: none"> x. 食べさせない(自分勝手に遊ぶ・反応なし) o. クレーンにより検者/人形に食べさせようとする a. 検者の口に物をもっていく(終了・それ以上は自分勝手に遊ぶ) b. 検者の口にスプーンで食べさせる c. 人形の頭や顔に物をもっていく(口への意識はみられない) d. 人形の口に物をもっていく e. 人形の口にスプーンで食べさせる f. 物をのせないで人形の口にスプーンで食べさせるふりをする g. 食べさせた後、遊びを進展させない(終了・他のことに注意が向く) h. 食べさせた後、自分本位の遊びに発展していく(検者と無関係に遊び出す) i. 食べさせた後、検者を意識しながら自分本位に遊ぶ j. 食べさせた後、検者に働きかけて遊びを進展する(1回以上のやりとり) k. 食べさせた後、検者に働きかけてやりとり遊びを展開する(2回以上) 		
< 後続の遊びは、食べさせるの繰り返し/新たな遊びの発展 >		
具体的な遊びの発展	<	>
具体的な相互交渉の内容	<	>
[]5. 「飲ませる(ふり)」	視線; 他方向・自分の行為・検者	
人形/検者	無発声・発声・発語()	
	行為後の物への笑顔・行為後の検者への笑顔	
<ul style="list-style-type: none"> x. 飲ませない(自分勝手に遊ぶ・反応なし) o. クレーンにより検者/人形に飲ませようとする a. 検者の口にコップを押しつける(終了・それ以上は自分勝手に遊ぶ) b. 検者の口にコップを近づけ傾ける(終了・それ以上は自分勝手に遊ぶ) c. 人形の頭や顔にコップをもっていく(口への意識はみられない) d. 人形の口にコップをもっていく e. 人形の口にコップをもっていき飲ませる f. 飲ませた後、遊びを進展させない(終了・他のことに注意が向く) g. 飲ませた後、自分本位の遊びに発展していく(検者と無関係に遊び出す) h. 飲ませた後、検者を意識しながら自分本位に遊ぶ i. 飲ませた後、検者に働きかけて遊びを進展する(1回以上のやりとり) j. 飲ませた後、検者に働きかけてやりとり遊びを展開する(2回以上) 		
< 後続の遊びは、食べさせるの繰り返し/新たな遊びの発展 >		
具体的な遊びの発展	<	>
具体的な相互交渉の内容	<	>

絵本による言語コミュニケーションチェック

- 手続き; 1)最後まで一度は、検者が読み通す
2)その後で、再度始めから質問したり/命名させたり/遊びながら読む
〔 〕簡単な絵本(1頁に人物と物が一つずつ程度の絵)
〔 〕簡単なストーリーのある絵本(動作語の使用、繰り返し、つながりがあるもの)

注 意/理 解

視線; 他方向・絵・検者

クレーン・手さし・指さし

無発声・発声・発語()

笑顔の有・無 楽しんでいる動作()

1)読み聞かせ

- 全く注目せず離席したり、他方向に注意が向く
- 読み手に関係なく自分でめくろうとする
- 「みて!」などの発声や働きかけで少しは見る
- 少しは絵に注目するが、他方向に注意がそれることがある
- 絵に注目し、表情や動作の変化がみられる(読み手の語りに無関係)
- 絵に注目して、ジェスチャー/絵をさわる/叙述の指さし/叙述の手さし/発声/発語をする(語り無関係)
- 語りの一部に反応してジェスチャー/絵をさわる/叙述の指さし/叙述の手さし/発声/発語をする
- 語りに正確に反応してジェスチャー/絵をさわる/叙述の指さし/叙述の手さし/発声/発語をする
- 語りに正確に反応して聞き入る
- 語りに正確に反応し聞き入り、絵と同時に文字にも関心を向ける

注意を向ける具体的な絵、文字とその正確さや意図

<

>

2)内容や絵について質問したり/命名させたり/遊びながら読む

- 無反応
- 自分勝手なジェチャー/さわり/叙述の指さし/叙述の手さし/発声/発語を行う
- 検者の発語+指さしに反応して絵を注視する
- 検者の発声(「みて!」)のみで反応して絵を注視する
- 検者の発語(語彙や文の呈示)により反応して絵を注視する
- 質問に対して明確に反応し、「ジェチャー/さわる/応答の指さし/手さし/発声/発語」で応答する
- 質問-応答ができ、その上で質問されなくとも、自発的にジェチャー/絵を叙述的にさわる/指さし/手さし/発声を検者にする
- 質問-応答ができ、その上で質問されなくとも、自発的にジェチャー/絵の命名/叙述を検者にする(共感を求めるのも含む)
- 検者に自発的に絵本の中の人・物などの絵/主体の動作/出来事について検者に質問する
- 絵の内容を発展させて、経験的な話を自発的にする(その場合、質問-応答が「達成/未達成」をみる)

j. 書かれている語彙や文を自発的に注目する／指さす／読む
 (読む場合、その正確さは「拾い読み／語彙単位／文を読む」)
 応答／叙述した際の発語・発話の内容
 < >

表出コミュニケーションモード： 動作・発声・語彙・語操作

1) 読み聞かせ (自発的な発声・発語)

- x. 無発声
 - o. 無発語
 - a. 一語による発語
(代名詞／名詞／動作語／終助詞／感嘆詞／擬音擬態語)
 - b. 二語文による発話 < >
 - c. 三語文による発話 < >
 - d. 重文・複文による発話 < >
 - g. 論理的表現を行う < >
- 具体的な発声・発語
 < >

2) 内容や絵について質問したり／命名させたり／遊びながら読む

- x. 無発声
 - o. 無発語
 - a. 一語による発語(名詞／動作語／終助詞がつく／感嘆詞／擬音擬態語)
 - b. 二語文による発話 < >
 - c. 三語文による発話 < >
 - d. 重文・複文による発話 < >
 - e. 論理的表現を行う < >
 - f. 疑問詞を使って検者に質問する
 - g. 論理的表現を行う < >
- 具体的な発声・発語
 < >

相互交渉

1) 読み聞かせ (自発的な動作・発声・発語を対象に、必ずフィードバックする)

- x. 無反応
 - o. 動作、発声や発語はあるが自分勝手に行い、検者への意識は全くない
 - a. 検者を意識して、動作(指さし等)を示す(一方的) (子→検)
 - b. 検者を意識して、発声する(一方的) (子→検)
 - c. 検者を意識して、発語／発話する(独言的であり、一方的) (子→検)
 - d. 検者に向けて動作(指さし等)を示し、検者が応答すると表情／動作などで再び応答する (子→検→子→検)
 - e. 検者に向けて発声し、検者が応答すると表情／動作／発声などで再び応答する (子→検→子→検)
 - f. 検者に向けて発語／発話し、検者が応答すると表情／動作／発声／発語／発話などで再び応答する (子→検→子→検)
 - g. 検者に向けて陳述行為を行い、応答すると繰り返し応答する
- 具体的な相互交渉
 < >

2) 内容や絵について質問したり／命名させたり／遊びながら読む

- x. 無反応
- o. 動作、発声や発語はあるが自分勝手に行い、検者への応答は全くない
- a. 検者を意識して、動作(指さし等)によって応答する (検→子→検)
- b. 検者を意識して、発声により応答する (検→子→検)
- c. 検者を意識して、発語／発話により応答する (検→子→検)
- d. 検者に向けて動作(指さし等)で応答し、検者が再び応答すると表情／動作などで応答する (検→子→検→子→検)
- e. 検者に向けて発声で応答し、検者が再び応答すると表情／動作／発声などで応答する (検→子→検→子→検)
- f. 検者に向けて発語／発話で応答し、検者が応答すると表情／動作／発声／発語／発話などで応答する (検→子→検→子→検)
- g. 者に向けて応答を行い、検者が返すと繰り返し応答する

具体的な相互交渉

<

>

3. コミュニケーション意欲・方法・内容

<p>a. コミュニケーション意欲</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1.ほとんど無い <input type="checkbox"/> 2.まれに他者(或いはその行動)に注意を向ける <input type="checkbox"/> 3.そばに行く、じっと見る <input type="checkbox"/> 4.声をかけられると応答する <input type="checkbox"/> 5.積極的なコミュニケーション意欲がみられる 	<p>b. コミュニケーションの方法(手段)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 1.無し</td> <td><input type="checkbox"/> 2.視線</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 3.表情</td> <td><input type="checkbox"/> 4.身体接触</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 5.クレーン</td> <td><input type="checkbox"/> 6.指さし</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 7.身振り</td> <td><input type="checkbox"/> 8.サイン</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 9.非言語的発声</td> <td><input type="checkbox"/> 10.有意味語</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 1.無し	<input type="checkbox"/> 2.視線	<input type="checkbox"/> 3.表情	<input type="checkbox"/> 4.身体接触	<input type="checkbox"/> 5.クレーン	<input type="checkbox"/> 6.指さし	<input type="checkbox"/> 7.身振り	<input type="checkbox"/> 8.サイン	<input type="checkbox"/> 9.非言語的発声	<input type="checkbox"/> 10.有意味語
<input type="checkbox"/> 1.無し	<input type="checkbox"/> 2.視線										
<input type="checkbox"/> 3.表情	<input type="checkbox"/> 4.身体接触										
<input type="checkbox"/> 5.クレーン	<input type="checkbox"/> 6.指さし										
<input type="checkbox"/> 7.身振り	<input type="checkbox"/> 8.サイン										
<input type="checkbox"/> 9.非言語的発声	<input type="checkbox"/> 10.有意味語										

4. 言語理解

<p>a. 指示の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1.できない <input type="checkbox"/> 2.身振りを伴う簡単な指示がわかる <input type="checkbox"/> 3.身振りを伴わない簡単な指示がわかる <input type="checkbox"/> 4.身振りなどを伴う複雑な指示がわかる <input type="checkbox"/> 5.身振りを伴わない複雑な指示がわかる 	<p>b. 音声言語の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1.反応なし <input type="checkbox"/> 2.他者の声や呼びかけに反応する <input type="checkbox"/> 3.名前を呼ばれると反応する <input type="checkbox"/> 4.音声で提示された物を指さすなどできる <input type="checkbox"/> 5.簡単な音声言語でのやりとり(会話)が成立する <input type="checkbox"/> 6.他者との会話が成立する
--	--

5. 発声・発話行動

<p>a. 発声行動の頻度</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1.無し <input type="checkbox"/> 3.時々発声 <input type="checkbox"/> 2.稀に発声 <input type="checkbox"/> 4.頻繁に発声 	<p>c. 発声行動の機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1.独り言的 <input type="checkbox"/> 2.要求・拒否(注意喚起も含む) <input type="checkbox"/> 3.共感 <input type="checkbox"/> 4.返答 <input type="checkbox"/> 5.叙述 								
<p>b. 発声行動の種類</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 1.無し</td> <td><input type="checkbox"/> 2.泣き声</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 3.うなり声</td> <td><input type="checkbox"/> 4.喃語様</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 5.韻律(抑揚)の模倣</td> <td><input type="checkbox"/> 6.エコラリア</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 7.有意味語 (不完全なものも含む)</td> <td><input type="checkbox"/> 8.語連鎖</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 1.無し	<input type="checkbox"/> 2.泣き声	<input type="checkbox"/> 3.うなり声	<input type="checkbox"/> 4.喃語様	<input type="checkbox"/> 5.韻律(抑揚)の模倣	<input type="checkbox"/> 6.エコラリア	<input type="checkbox"/> 7.有意味語 (不完全なものも含む)	<input type="checkbox"/> 8.語連鎖	<p>d. 発声行動意図の明瞭さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1.全く理解できない <input type="checkbox"/> 2.わずかに <input type="checkbox"/> 3.半分くらい <input type="checkbox"/> 4.殆ど理解 <input type="checkbox"/> 5.全て理解できる
<input type="checkbox"/> 1.無し	<input type="checkbox"/> 2.泣き声								
<input type="checkbox"/> 3.うなり声	<input type="checkbox"/> 4.喃語様								
<input type="checkbox"/> 5.韻律(抑揚)の模倣	<input type="checkbox"/> 6.エコラリア								
<input type="checkbox"/> 7.有意味語 (不完全なものも含む)	<input type="checkbox"/> 8.語連鎖								

* 各項目において、場面、人、種類などもあわせて記述する

知的障害者精神状態テスト マニュアル1

1. 知識

No.	手続	合格基準
(1)	◆ 目, 足, 鼻, 髪の毛がかいてある子どもの絵のカードを呈示し, 『この男の目はどれですか. 指でさしてください』と言う. 足, 鼻, 髪の毛について順次問う.	4問のうち2問以上が答えられた場合を合格とする.
(2)	◆ 『あなたの名前は何と言いますか』と問う.	正確に答えられた場合を合格とする.
(3)	◆ 『〇〇さんは男(女)ですか, 女(男)ですか』と問う.	正確に答えられた場合を合格とする.
(4)	◆ 『〇〇さんの年はいくつですか』と問う.	正確に答えられた場合を合格とする.
(5)	◆ 『これから, 私の言うことをよく聞いて答えてください』と言ってから, 『(ねむくなったら・おしっこがしたくなったら), あなたはどうしますか』と問う. 答えがない場合, 1度だけ問題を繰り返す. ◆ (再質問) 『お母さんに言う』などの場合は, 『なんとと言いますか』などで再質問するが, 1回限りである. ※正答基準: “眠い時” “おしっこがしたい時” の適切な対処の仕方を述べられている場合 ① ねむくなったら… ねる, ねんねする, ふとんをしく, 「ねむい」と言う, パジャマを着るなど ② おしっこがしたくなったら… おしっこする, トイレに行く, パンツを脱ぐ, 「おしっこ」と言う.	2問のうち1問以上が答えられた場合を合格とする.
(6)	◆ 鳥, 魚, りんご, 本, 時計, 卵がかいてあるカードを呈示し, 『この絵の中で, (空を飛ぶ, 水の中を泳ぐ, 木になる, 私たちが読む, 時間を知らせる, にわとりが産む) ものはどれですか. 指でさしてください』と問う. ◆ 被検査者が者の名前を言うだけだと, 指でさすように注意をする.	6問のうち5問以上が答えられた場合を正当とする.
(7)	◆ 『これから, 私の言うことをよく聞いて答えてください』と言ってから 『(目・耳)は何をするものですか』と問う. 答えがない場合には, 1度だけ繰り返して問う. ◆ (再質問) ①目がないと見えないの場合は, 『少しわかるように, 話してください』と問う. ②も同様である. 再質問は1回限りである. ※正答基準: 目及び耳の本質的な機能が正しく述べられている場合 ① 目は… 見るもの, 見る, 見るため, 見ること, 見えるもの, いろんなものを見る目 ② 耳は… 聞くもの, 聞く, 聞くため, 聞くこと, 聞こえるもの, 聞いている, いろんなものを聞く耳	2問のうち1問以上が答えられた場合を合格とする.
(8)	◆ 『今日は何曜日ですか』と問う.	正確に答えられた場合を合格とする.

(9)	◆ 飛行機, 手, 家, かさ, くつ, ボール, いす, はさみ, 時計, 葉, 馬, めがね, テーブル, ピストル, 木の絵カードを1枚ずつ呈示し, 『これは何ですか (何と言いますか)』と順次問う.	15問とも答えられた場合を合格とする.
(10)	◆ 『〇〇さんの誕生日はいつですか』と問う.	正確に答えられた場合を合格とする.
(11)	◆ 『今日は何月何曜日ですか』と問う.	正確に答えられた場合を合格とする.
(12)	◆ 『これから, 曜日のことについて, いろいろ聞きます』と言ってから, 『(金・火・木) 曜日の前の日は何曜日ですか』と問う.	3問とも答えられた場合を合格とする.

検査道具

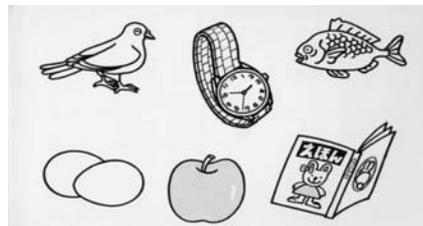
検査道具 (1) 子どもの絵カード

*子どもの絵がかいてある絵であれば大丈夫です.



検査道具 (6) 絵カード

*以下の6個のものがかいてある絵であれば大丈夫です.



検査道具 (9) : 15 個のものがかいてあるカードであれば大丈夫です。それぞれの絵の大きさを揃えてください。

知的障害者精神状態テスト マニュアル2

2. 記憶能力

NO	手続	正答基準
(1)	<p>◆ 『これから、犬を箱の中に隠します。後で、犬がどの箱の中にいるか見つけてもらいますから、よく見ていらっしゃい』と言って被験者に注視させて、犬を箱の中に隠す。そして、3個の箱をおおいで隠し、検査者が手を叩きながら声を出して、5まで数える（1数詞1秒の速さ）。そしておおいを取り去り、「犬はどの箱にいますでしょうか。指でさしてください」と言う。</p> <p>◆ 中央の箱、被検査者の左側の箱、被検査者の右側の箱の順に隠す。</p>	3問のうち2問以上を答えられた場合を合格とする。
(2)	<p>◆ 8匹の動物のかいてあるカードを10秒間見せた後、隠して『今見たカードの中にどんな動物がありましたか』と言って、動物の名前を再生させる。</p>	2個まで正確に答えられた場合と4個以上を答えられた場合に分けて採点する。
(3)	<p>◆ 5個の果実のかいてあるカードを10秒間見せた後、隠す。そして、10個の果実のかいてあるカードを呈示し、『今見た果物をこのカードから探してください』と言う。</p>	2個まで正確に答えられた場合と3個以上を答えられた場合に分けて採点する。
(4)	<p>◆ 『これから、数をいくつか言いますから、あなたはおしまいまでよく聞いていて、私の言ったとおりに、言ってください。よく聞いていらっしゃい。』と言って例題『3-2-7』を復唱させる。例題を正しくできなかった場合は、訂正する。本題（①7-5-9、②2-8-3）を復唱させる。</p>	2問のうち1問以上を答えられた場合を合格とする。
(5)	<p>◆ 4個の積木を被検査者の前に並べる。被検査者の左側から1,2,3,4とする。1 2 3 4, 1 2 3 4 3, 1 2 3 4 2, 1 3 2 4, 1 4 3 2, 1 4 2 3, 1 3 2 4 3, 1 4 3 2 4, 1 3 1 2 4, 1 4 3 1 2 4, 1 3 2 4 1 3, 1 4 2 3 4 1の順に、違う積木で並べられている積木の上を叩いて見せ、子供に再生させる。</p>	正答数が2個までの場合、3個～4個の場合、5個～6個の場合、7個以上に分けて採点する。
(6)	<p>◆ 『これから、数をいくつか言いますから、あなたはおしまいまでよく聞いていて、それを反対から言ってください。例えば、3-1-2、と言ったらあなたはどのように言いますか。』と言って逆唱させる。例題を正しくできなかった場合は、やり方を理解させてから、「3-1」で練習させる。練習問題までできなかった場合は、本題（①2-9-5、②8-1-6）を実施する必要はない。</p>	2問のうち1問以上を答えられた場合を合格とする。

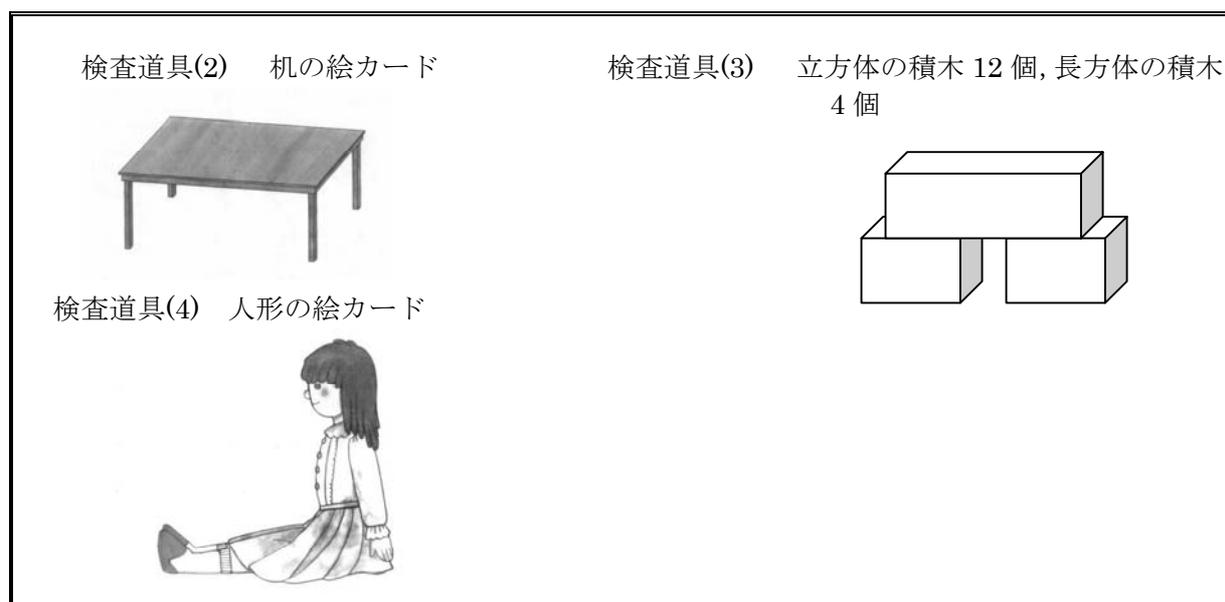
知的障害者精神状態テスト マニュアル3

3. 空間知覚（比較判断，知覚・運動）

No.	手続	合格基準
(1)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 検査者が，最初の3個の積木を積んで見せ，残りの積木を被検査者に与えて，『このように積んでください』と言う． ◆ 1回目で成功した場合は，2回目を行う必要はない． ◆ 制限時間は，役1分程とする． 	2回までに，3個の積木を倒れないように積めた場合を合格とする．
(2)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 机の絵カードを呈示し，『机の上（下）を指さしてください』と問う． 	2問とも正確に答えられた場合を合格とする．
(3)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 2種類（立方体，直方体）の積木を机の上に混ぜておき，被検査者が見えないように，2個の立方体と1個の直方体でトンネルを作って見せ，『これと同じトンネルをあなたも作れるでしょう．これと同じトンネルを（机のあいているところを指さしながら）ここに作ってください』と言って，計時を開始する． ◆ 見本は被検査者のよく見えるところに置く． ◆ 制限時間は，1分とする． 	トンネルの下になる2つの積木は2個とも立方体で，それらの2つの積木の間は少しでも隙間があるように作られた場合を合格とする．
(4)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 人形の絵カードを呈示し，『人形の前（後ろ）を指さしてください』と問う． 	2問とも正確に答えられた場合を合格とする．
(5)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 積木2個を，1個は被検査者の目の前に置き，もう1個は向かい側の少し離れたところに置いて，『遠い（近い）方の積木をとってください』と問う． 	2問とも正確に答えられた場合を合格とする．
(6)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ まず，長方形のカードを被検査者に対して横長になるように置き，三角形のカード2枚を下図のように並べる．『（2枚の三角形を指さしながら）この2枚を組み合わせて，（長方形をさして）これと同じ形にしてください．できたら，できましたと言ってください』と言って，計時を開始する．同様に②，③を実施する． ◆ 制限時間は，各問1分とする． ◆ 1分以内に正しく切断面を合わせ，長方形を作った場合，見本の長方形と同じ向きに置かれていなくてもよい． 	3問のうち2問以上をできた場合を合格とする．
(7)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 箱3個を横につないで置き，『これは貨物列車ですよ．今からこれにいろいろな者を乗せますからよく見ていてください』と言い，被検査者の左側から，犬，ボタン，積木を順番に入れる．入れる時，『1番最初は犬ですね．2番目はボタンですね，最後は積木です．』とその物の名前を言いながら入れる．次にトンネルを貨物列車の前方に置き，『さあ，貨物列車がトンネルに入ってしまうですよ．何がどういう順番に乗っているかよく見て覚えておいてください．』と言って，5秒間呈示する（計時する）．そして貨物列車をすべらせて，トンネルの中に移動させる．そのままの状態①，②を実施する． 	2問とも正確に答えられた場合を合格とする．

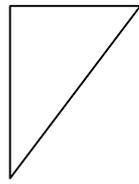
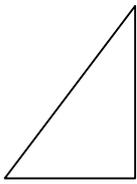
	<p>① トンネルの前方を指さし、『貨物列車が出てきますよ.』と言って、『1番最初(2番目・最後)に乗っているの何ですか』と問う.</p> <p>② トンネルの後方を指さし、『こちらに戻ってきたら, 1番最初(2番目・最後)に乗っているの何ですか』と問う.</p>	
(8)	<p>◆ 被検査者の前に正三角(1辺の長さが6cm)のかいてあるカードを呈示し,それをさしながら、『これをよく見て,これと同じ形,同じ大きさのものをかいてください』と言う.</p> <p>◆ 3回実施する.</p>	3回のうち1回以上を書けた場合を合格とする.
(9)	<p>◆ 迷路のかいてあるカードを呈示し,「(絵の中の子どもの入る場所を指さして)ここからはじめて,家の方に出るようにしてください.途中でつきあたり,後戻りしてはいけません.」と言って,軽視を開始し,指でなぞらせる.</p> <p>◆ 制限時間は1分とする.</p> <p>◆ 1回目で成功した場合は,2回目は行う必要がない.</p>	2回目までにできた場合を合格とする.
(10)	<p>◆ 被検査者の前にひし形(1辺の長さが4cm)のかいてあるカードを呈示し,それをさしながら、『これをよく見て,これと同じ形,同じ大きさのものをかいてください』と言う.</p> <p>◆ 3回実施する.</p>	3回のうち1回以上を書けた場合を合格とする.
(11)	<p>◆ 『私のすることをよく見ていてください』と言って注意をひきつけておいて,鎖を作る.それを被検査者の前に置き,『あなたも,これと同じものを作ってください.』と言って,実施する.</p> <p>◆ 制限時間は各問2分とする.</p> <p>◆ 計時は,ひもを手渡すと同時に開始し,通し終わるまでの時間を計る.</p>	2問とも正確に通せた場合を合格とする.
(12)	<p>◆ 被検査者に立方体の模倣図を呈示し,『これと同じものを作ってください』と言って,4個の立方体を渡す.(記録用紙参照,左側から順次実施する).</p> <p>◆ ②,③を実施する前は積木の色をバラバラにする.</p> <p>◆ 制限時間は各問1分30秒とする.</p>	3問のうち2問以上できた場合を合格とする.

検査道具

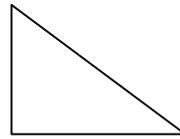
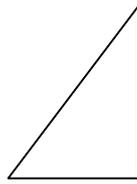


検査道具(6) 長方形のカード、長方形のカードを、その対角線にそって切断してできた 2 枚の三角形

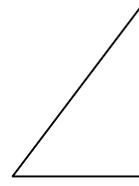
①



②

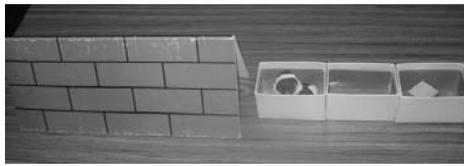


③



被検査者

検査道具(7) 犬のミニチュア、ボタン、直方体の積木、箱、厚紙のトンネル



被検査者

検査道具(9) 迷路カード



検査道具(11) ビーズ 48 個 (円柱 16 個, 立方体 16 個, 球 16 個), ひも



検査道具 (12) 模様図, 立方体 4 個

知的障害者精神状態テスト マニュアル4

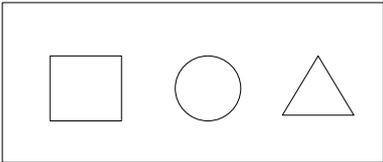
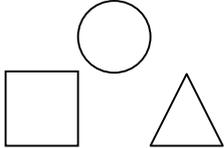
4. 数概念

No.	手続	合格基準
(1)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ はめこみ板に型を全部はめたままを呈示し、『私がとんなことをするか、よくみていてください。』と言って、型を全部ひき抜いて、はめこみ板の横に置く。それから『これを、もとのところに入れてください。』と言う。 ◆ 制限時間は約1分程にする。 	2回とも正確にはめられた場合を合格とする。
(2)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 大小のかいてあるカードを呈示し、『どちらのまるが大きいでしょう。大きい方を指で指してください』と言う。①、②を実施する。 ◆ 最初に1度で正確に大きいまるを指さした場合を正答とする。 	2回ともできた場合を合格とする。
(3)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 白と黒のご石を各13個ずつ出して、混ぜ、その向こうに箱(容器)を2個並べていく。『よく見ていてください。黒いご石をこちらに、白いご石をこちらに入れるのです。』と言って、ご石を分類して見せる。その後で、箱を再び空にして、『今度は、あなたがやってください。黒いご石はみんなこちらに、白いご石はみんなこちらに入れるのです。』と言って、計時を開始する。 ◆ 制限時間は2分とする。 	2分以内に、誤りなく、全部分類できた場合を合格とする。
(4)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 机の上に少し距離をあけて紙2枚を置く。 ①被検査者の前に積木4個を置き、『左右の紙に同じ数ずつ分けてください。』と言う。 ②それから、『分けた積木はいくつずつありますか。』と問う。 ③ ①と同じやり方で、今度は積木10個を置き、『左右の紙に同じ数ずつ分けてください。』と言う。 ④それから、『分けた積木はいくつずつありますか。』と問う。 ⑤机の上に積木8個を横に並べ、被検査者の左側の端から指さし、『ここから数えて2番目の積木を指さしてください。』と言う。 ⑥机の上に積木8個を横に並べ、被検査者の左側の端から指さし、『ここから数えて4番目の積木を指さしてください。』と言う。 	2個以上正確に答えられた場合、3個以上を答えられた場合、5個以上を正確に答えられた場合に分けて採点する。
(5)	<ul style="list-style-type: none"> ① 積木5個を被検査者の前にばらばらに置き、『ここにある積木を、3つ取ってください。』と言う。 ② 積木1個を検査者の掌にのせ、残りの4個の積木を被検査者の前にばらばらに置き、『私の掌の積木(検査者の掌にある積木をさしながら)が、3つになるように、ここから(残りの4個の積木をさしながら)積木を取ってください。』と言う。 	2回ともできた場合を合格とする。
(6)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 被検査者の前に紙を置き、紙の近くに積木を置く。 ①『積木を2個、この紙の上に置いてください。』と言う。 ②『今度は、積木を3個、この紙の上に置いてください』と言う。 同様に、③6個、④10個の順に実施する。 ※紙の置かれた積木は、各問題が終わるごとに必ず取り去り、もとの場所に戻しておく。 	4文ともできた場合を合格とする。
(7)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 被検査者の前に正三角(1辺の長さが6cm)のかいてあるカードを呈示し、それをさしながら、『これをよく見て、これと同じ形、同じ大きさのものをかいてください』と言う。 ◆ 3回実施する。 	3回のうち1回以上を書けた場合を合格とする。

(8)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 被検査者の前にひし形（1 辺の長さが4cm）のかいてあるカードを呈示し、それをさしながら、『これをよく見て、これと同じ形、同じ大きさのものをかいてください』と言う。 ◆ 3回実施する。 	3回のうち1回以上を書けた場合を合格とする。
(9)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 『これから私が机を叩きますから、その音をおしまいでよく聞いて、いくつ叩いたかを言ってください。声を出したり、指を折って数えたりしてはいけません。』と言い、被検査者の見えないように、積木の角で叩く（腕を机の下に入れて、手首だけの運動で机を下から叩きあげると良い）。叩き終わったら『いくつ叩いたでしょう』と問う。 ◆ 練習問題として、2回を叩く。1回目で正しく答えられなかった場合は、もう一度行い問題を理解させてから、①～③を実施する。 ◆ ①7回叩く、②5回叩く、③8回叩く。 ◆ 叩く速さは1回1秒の速さで叩く。 	3問とも1度で正確に答えられた場合を合格とする。
(10)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 『私がこれからひもにビーズをとおしますから、よく見ていてください。とおし終わって少ししたらそれを隠します。後で同じものを作ってもらいますから、あなたはその間によく覚えておいてください』と言って、被検査者によく見えるようにして鎖を作る。できあがったら、それを被検査者に5秒間（計時する）見せて、取り去り、『今度は、あなたが今のと同じものを作るのですよ。できるだけ、はやくやってください』と言って、ひもを手渡して、やらせる。 ◆ 制限時間は各問2分とする。（ひもを手渡すと同時に開始し、被検査者が通し終わるまでの時間を計る） 	2問のうち1問以上を2分以内に正確にとおせた場合を合格とする。

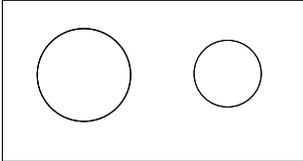
検査道具

検査道具(1) はめこみ板、円型、正方形、三角形

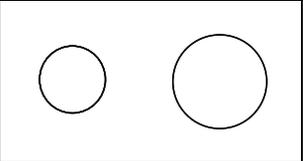



検査道具(2) 大小2つの円のカード

①



②



検査道具(10)のひもとおしは、記憶能力の検査道具(7)と同じ

知的障害者精神状態テスト マニュアル5

5. 身体模倣・操作

No.	手続	合格基準
(1)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 検査者が次の4つの動作を見せ、模倣させる。 <ul style="list-style-type: none"> ① 足を組む(運動能力アセスメント 測定マニュアル参照) ② 両手を組む ③ 両親指をまわす ④ 円筒をのぞく模倣 ◆ 判定基準 <ul style="list-style-type: none"> ②右左の5本の指がそれぞれ指の間に挟まっていること。 ③親指以外の4本の指をはめた状態で、左右の親指を内側(または外側)にぐるぐるまわす。 ④円筒(サランラップなどの芯を利用しても良い)を渡し、望遠鏡で見るような動作をする。 	2個までできた場合と3個以上できた場合に分けた採点する(記録用紙参照)
(2)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 検査者がまりつきを見せ、やってもらう。 ◆ テニスボール大のボールでやる。 ◆ 1回もつけなかった場合 : 本人から90cm離れていないところにバウンドした場合、1回とみなす。 	記録用紙参照(それぞれ何回できたかによって採点する)
(3)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 2.7mの距離からお手玉を受ける。 <ul style="list-style-type: none"> ① 両手 3回行う ② 左手 2回行う ③ 右手 2回行う 	記録用紙参照

知的障害者精神状態テスト マニュアル6

6. 言語

No.	手続	合格基準
(1)	<p>◆ 被検査者の左から積木, ボタン, 犬, 箱, はさみ, の順に 1 列に並べる. その時, 『これは積木ですね』などのように, 材料の名前を一つ一つ言いながら並べる. 並べた後,</p> <p>① 『犬を取ってください』 ② 『ボタンを箱の上のせてください』 ③ 『はさみを積木のそば (横) に置いてください』と言う.</p> <p>◆ ②, ③を実施する前には, 必ず材料を元の位置に戻す.</p>	3問のうち1問正解の場合と 2 問以上正解の場合に分けて採点する.
(2)	<p>◆ 飛行機, 手, 家, かさ, くつ, ボール, いす, はさみ, 時計, 葉, 馬, めがね, テーブル, ピストル, 木の絵カードを1枚ずつ呈示し, 『これは何ですか (何と言いますか)』と順次問う.</p>	15 問とも答えられた場合を合格とする.
(3)	<p>◆ 『これから, 私がお話を言って, 途中でやめますから, よく聞いていて, ちょうどよい言葉をその後に続けて言ってください. いいですか.』と言って, 例題『うさぎは速い, かめは……どうでしょう』と問う. わからなければ, 『のろいでしょう』と教える. 『速くない』と答えた場合も『のろいでしょう』と訂正する.</p> <p>① お塩はからい, お砂糖は… (正答: あまい) ② お父さんは男です, お母さんは… (正答: 女, 女の子…) ③ 夏は暑い, 冬は… (正答: 寒い) ④ 子どもは小さい, 大人は… (正答: 大きい, でっかい)</p>	4問のうち2問以上を答えられた場合を合格とする.
(4)	<p>◆ 『これから, 私の言うことをよく聞いて答えてください』と言ってから『(目・耳)は何をするものですか』と問う. 反応がない場合には, 1度だけ繰り返して問う.</p> <p>◆ (再質問) ①目がないと見えないの場合は, 『少しわかるように, 話してください』と問う. ②も同様である. 再質問は 1 回限りである.</p> <p>※正答基準: 目及び耳の本質的な機能が正しく述べられている場合</p> <p>① 目は… 見るもの, 見る, 見るため, 見ること, 見えるもの, いろんなものを見る目 ② 耳は… 聞くもの, 聞く, 聞くため, 聞くこと, 聞こえるもの, 聞いている, いろんなものを聞く耳</p>	2問のうち1問以上が答えられた場合を合格とする.
(5)	<p>◆ 『これから, 私がお話を言って, 途中でやめますから, よく聞いていて, ちょうどよい言葉をその後に続けて言ってください. いいですか.』と言って, 例題『ひよこは小さい, にわとりは……どうでしょう』と問う. わからなければ, 『大きい(でっかい)でしょう』と教える. 『小さくない』と答えた場合も『大きい(でっかい)でしょう』と訂正する.</p> <p>① 野原は明るい, 森の中は… (暗い, うす暗い, 真っ暗) ② ジェット機は速い, 船は… (軽い) ③ 鉄は重い, 綿は… (遅い, 鈍い, ゆっくり)</p>	3問のうち2問以上を答えられた場合を合格とする.

(6)	<p>◆ 『これから、私が1つ問題を出しますから、よく聞いて答えてください』と言って実施する。</p> <p>① もしも、あなたが何かと友達のを壊したとき、あなたはどうしますか。</p> <p>② もしも、あなたが学校へ行く途中で、遅刻するかも知れないと気がついたときには、あなたはどうしますか。</p> <p>③ もしも、あなたの友達が、うっかりして、あなたの足をふんだときには、あなたはどうしますか。</p> <p>◆ 返答がない場合には、3度まで繰り返して問う。</p> <p>※正答基準：適切な解決法が述べられた場合</p> <p>① 謝る、弁償するなど。</p> <p>② 急ぐ、学校に連絡するなど。</p> <p>③ 我慢する、容認するなど。</p>	3問のうち2問以上を答えられた場合を合格とする。
(7)	<p>◆ 『これから、私の言うことをよく聞いて答えてください』と言って、実施する。</p> <p>① あなたがどこか行く途中で、電車に乗り遅れてしまいました。そのとき、あなたはどうしますか。</p> <p>② あなたがお母さんのお使いで、どうしてもいるものを買に行きました。でも、お金が足りませんでした。そのとき、あなたはどうしますか。</p> <p>③ あなたが日曜日にうちの人と遊園地に行って迷子になってしまいました。そのとき、あなたはどうしますか。</p> <p>※答えがない場合、1度だけ問題を繰り返す。</p> <p>※(再質問) ①待つ、次の電車などの場合、『もう少しわかるように、話してください』と言って、再質問する。②、③も同様。</p> <p>再質問は1回限りとする。</p> <p>※正答基準：当面している問題に対して現実的な方法で適切に述べられた場合</p> <p>① 次の電車が来るのを待つ、次の電車に乗る、バスに乗る、など</p> <p>② 家にお金を取りに帰る、お金を借りる、電話をしてお金を持ってきてもらう、など</p> <p>③ 自力で家の人を捜す、放送室で呼び出してもらう、迷子センターに行く、おまわりさんに言う、など</p>	3問のうち2問以上を答えられた場合を合格とする。
(8)	<p>◆ 『あなたは、卵を見たことがあるでしょう。石も見たことがあるでしょう。卵と石はどう違いますか。』と問う。以下、同様に②、③を実施する。</p> <p>① 卵と石</p> <p>② 蝶と蝦</p> <p>③ 木の板とガラス</p> <p>◆ 反応がないときには、「卵と石は同じですか」と尋ね、「どこが違いますか」と問う。②、③も同様である。</p> <p>※正答基準：比較の基準(同一の基準)が適切な場合</p>	3問のうち2問以上を答えられた場合を合格とする。
(9)	<p>◆ 『今日は何年何月何日何曜日ですか』と問う。</p>	すべてを正確に答えられた場合を合格とする。

検査道具

検査道具(1) 立方体の積木 3 個，ボタン，犬のミニチュア，箱，はさみ



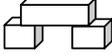
被検査者

精神状態テスト書式

精神状態テスト(知能テスト)

1. 知識 (自己志向、日時)	制限時間	記録	合格基準	合	否			
(1) 「(男の子の絵を呈示)この男の子の(目、足、鼻、髪)の毛は)はどれですか。指さしてください」			2/4					
(2) 「あなたの名前は何と言いますか」								
(3) 「〇〇さんは男(女)ですか、女(男)ですか」								
(4) 「〇〇さんの年はいくつですか」								
(5) 「(ねむくなったら・おしっこがしたくなったら)あなたは どうしますか」			1/2					
(6) 「(鳥・魚・りんご・本・時計・卵の絵を呈示)この絵の中で、空を飛ぶ・水の中を泳ぐ・木になる・読む・時間を知らせる・にわとりが産む)ものはどれですか。指さしてください」			5/6					
(7) 「(目・耳)は何をするものですか」			1/2					
(8) 「今日は何曜日ですか」								
(9) 「絵カードの飛行機・手・かさ・くつ・ボール・いす・はさみ・時計・葉・馬・めがね・テーブル・ピストル・木の名称)これは何ですか」			15/15					
(10) 「〇〇さんの誕生日はいつですか」								
(11) 「今日は何月何曜日ですか」								
(12) 「(金・火・木)曜日の前の日は何曜日ですか」			3/3					
レベル	1	2	3	4	5	6	7	合の個数
個数	1/12	2,3/12	4,5/12	6,7/12	8,9/12	10,11/12	12/12	← <input type="checkbox"/>

2. 記憶能力		制限時間	記録	合格基準	合	否		
(1)	犬の隠れた箱を3個の中から選択する			2/3				
(2)	「(8匹の動物の描かれたカードを10秒間見せた後、隠して)今、見たカードの中にどんな動物がいましたか」 (再生)	10秒		1～ 2/8 3以上				
(3)	「(5個の果実の描かれたカードを10秒間見せた後、隠して)今、見た果物をこのカード(10個の果実)から探してください」 (再認)	10秒		1～ 2/5 3以上				
(4)	3数詞(3-2-7、2-8-3)の復唱			1/2				
(5)	積み木叩き「4個の積み木(左から1、2、3、4とする)」を並べ、1234、12343、12342、1324、1432、1423、13243、143243、13124、143124、132413、142341の順に叩いて見せ、再生させる」			2/12 3～4 5～6 7/12				
(6)	3数詞(2-9-5、8-1-6)の復唱			1/2				
(7)	記憶によるひも通し 「□○□□○□と□○□○□○□」 5秒呈示後、2分以内で再生させる」	2分		1/2				
レベル	1	2	3	4	5	6	7	合の個数
個数	1/12	2,3/12	4,5/12	6,7/12	8,9/12	10,11/12	12/12	← □

3. 空間知覚 (比較判断、知覚・運動)					制限 時間	記録	合格 基準	合	否
(1)	積木つみ (3個積む)								
(2)	上下の判断 「(机の絵カードを呈示し)机の上を、(下を)指さしてください」						2/2		
(3)	手本を見せ、積木でトンネルを作る 								
(4)	前後の判断 「(人形の絵カードを呈示し)人形の前を、(後ろを)指さしてください」						2/2		
(5)	遠近の判断 「(積木を対象者の前に2個置き)遠い方(近い方)の積木をとってください」						2/2		
(6)	2枚の三角形を組み合わせて、長方形を作る						2/3		
(7)	3つの箱を電車に見たて、犬、ボタン、積木を乗せる。5秒間呈示した後、トンネルの中に移動させる。前進方向(犬、ボタン、積木)と逆方向(積木、ボタン、犬)に乗っている物を正しく言う						2/2		
(8)	三角形の模写						1/3		
(9)	迷路で家まで行く				1分		1/2		
(10)	ひし形の模写								
(11)	模倣によるひも通し □○○ □○○○ □○○□ ○□○○ □○ □○○○ 「あなたも、これと同じものを作ってください」				2分		2/2		
(12)	立方体の組み合わせ 						2/3		
レベル	1	2	3	4	5	6	7	合の個数	
個数	1/12	2,3/12	4,5/12	6,7/12	8,9/12	10,11/12	12/12	← <input type="checkbox"/>	

4. 数概念 (比較判断、知覚・運動)					制限時間	記録	合格基準	合	否
(1)	○△□の3種の型はめ						2/2		
(2)	まるの大きさの比較 「(大小2つの円のカードを呈示) 大きい方を指さしてください」						2/2		
(3)	13個ずつの白黒のご石を分類する				2分				
(4)	“数え方・分け方”課題 ・4個の積木を「左右の紙に同じ数ずつ分けてください」 ・「分けた積木はいくつずつありますか」 ・10個の積木を「左右の紙に同じ数ずつ分けてください」 ・「分けた積木はいくつずつありますか」 ・積木を8個並べ、左端を指さし、「こちらから数えて2番目の積木を指さしてください」 ・積木を8個並べ、左端を指さし、「こちらから数えて4番目の積木を指さしてください」						2/6		
							3/6		
							5/6		
(5)	数“3”の概念 ・積木5個を置き、「ここから、積木を3つをとってください」 ・掌に積木を1個のせ、4個の積木を置き、「(掌を指さし)手の上の積木が3つになるように、積木のをせてください」						2/2		
(6)	12個の積木から(2・3・6・10)個とる						4/4		
(7)	三角形の模写						1/3		
(8)	ひし形の模写						1/3		
(9)	見えないところで手を(7・5・8回)叩き「いくつでしたか」						3/3		
(10)	記憶によるひも通し 「□○□□○□と□○□○□○□」 5秒呈示後、2分以内で再生させる」				2分		1/2		
レベル	1	2	3	4	5	6	7	合の個数	
個数	1/12	2,3/12	4,5/12	6,7/12	8,9/12	10,11/12	12/12	← <input type="checkbox"/>	

5. 身体模倣・操作					制限 時間	記録	合格 基準	合	否
(1) 動作の模倣	足組みの模倣						2/4		
	腕組みの模倣						3/4		
	指組みの模倣								
	円筒をのぞく模倣								
(2) まりつき	テニスボール大のボールでまりつきをする						1回		
							2回		
							3回 以上		
							12回 以上		
(3) お手玉受け	両手で						1回		
							2回		
							3回		
	右手で						1回		
							2回		
	左手で						1回		
							2回		
	レベル	1	2	3			4	5	6
個数	1/13	2,3/13	4,5/13	6,7/13	8,9/13	10,11/13	12,13/13	← <input type="checkbox"/>	

6. 言語 (話し言葉の表出・語彙、話し言葉の理解)					制限時間	記録	合格基準	合	否
(1)	簡単な命令の実行「積木、ボタン、犬、箱、はさみ、の順に、一列に並べ、①犬を取ってください、②ボタンを箱の上にのせてください、③はさみを積木のそばに置いてください」						1/3		
							2/3		
(2)	語彙「(絵カードの飛行機・手・家・かさ・くつ・ボール・いす・はさみ・時計・葉・馬・めがね・テーブル・ピストル・木の名称)を呈示し、これは何ですか」						11/15		
							13/15		
							15/15		
(3)	反対類推「お塩はからい、お砂糖は？・お父さんは男、お母さんは？・夏は暑い、冬は？・子供は小さい、大人は？」						2/4		
(4)	「(目・耳)は何をするものですか」						1/2		
(5)	反対類推「野原は明るい、森の中は？・ジェット機は速い、船は？・鉄は重い、綿は？」						2/3		
(6)	了解「もしも、あなたが何か友達のを壊したとき… もしも、あなたが学校に行く途中で… もしも、あなたの友達があなたの足を…」						2/3		
(7)	理解「あなたがどこかへ行く途中で電車に乗り遅れたとき… あなたがお母さんのお使いで買い物に行ったが、お金が足りないとき… あなたが日曜日におうちの人と遊園地に行つて迷子になったとき…」どうしますか						2/3		
(8)	語「卵と石、蝶と蠅、木の板とガラス」の差異						2/3		
(9)	「今日は、何年何月何日何曜日ですか？」						4/4		
レベル	1	2	3	4	5	6	7	合の個数	
個数	1/12	2,3/12	4,5/12	6,7/12	8,9/12	10,11/12	12/12	← <input type="checkbox"/>	

知的障害者のための記憶評価法

領域	課題	手続き	評価基準
一次記憶(短期記憶)			
(1) 数字の復唱課題		「1・6」「7・3」を復唱させる (どちらか一方正答すれば合格)	合格／不合格
		「7・5・9」「2・8・3」を復唱させる (どちらか一方正答すれば合格)	合格／不合格
		「6・5・3・7」「1・4・7・5」を復唱させる (どちらか一方正答すれば合格)	合格／不合格
(2) 単語の復唱課題		「赤いりんご」「大きいくま」を復唱させる (どちらか一方正答すれば合格)	合格／不合格
(3) 短文の復唱課題		「こいがおよいでいます」「お母さんがせんたくをしています」を復唱させる(どちらか一方正答すれば合格)	合格／不合格
(4) 積み木叩き課題		二系列(積み木二個)の積み木を叩き、同一の積み木を叩かせる	合格／不合格
		三系列(積み木三個)の積み木を叩き、同一の積み木を叩かせる	合格／不合格
		四系列(積み木四個)の積み木を叩き、同一の積み木を叩かせる	合格／不合格
(5) 順序の記憶		犬の模型・ボタン・積み木をそれぞれ箱に入れ、どのような順序で並んでいたのかを口頭再生させる。	合格／不合格
(6) 絵の再生・再認課題		8匹の動物の描かれたカードを10秒間見せた後、隠してカードの中に何の動物がいたのかを口頭再生させる	正しく口頭再生した動物の数 ()
		5個の果物の描かれたカードを10秒間見せた後、隠して、10個の果物が描かれたカードからポインティングで選択させる	正しくポインティングした果物の数 ()

一次記憶(作動記憶)		
(1) 数字の逆唱	「3・1」「5・9」を逆唱させる (どちらか一方正答すれば合格)	合格／不合格
	「2・9・5」「8・1・6」を逆唱させる (どちらか一方正答すれば合格)	合格／不合格
エピソード記憶(長期記憶)		
(1) ブシュケ選択的想起検査	8つの動物の名前を提示し、それを自由再生させる。その後日賢者が省力した動物の名前を提示し、再度自由再生させる。これを被験者が全ての動物を再生できるまで最高10試行繰り返す。	10試行目で再生できた動物の数()
(2) 写真名前課題	1枚の写真を見せ名前(姓名)を覚えさせ、30分後に写真を見せ口頭再生させる。	合格／不合格
(3) 隠された持ち物課題	ペンやハンカチなど被験者の持ち物一つを借りて引出などに隠す。30分後に持ち物を隠した場所を思い出させる(口頭／ポインティング)	合格／不合格
	ペンやハンカチなど被験者の持ち物三つを借りて引出などに隠す。30分後に持ち物を隠した場所を思い出させる(口頭／ポインティング)	合格／不合格
知覚表象システム		
(1) 物品線画完成(プライミング)課題	物品の線画を見せ呼称させる。10分後見せた線画の50%かけた線画と、見せなかった線画の50%欠けた線画を見せて何であるかを答えさせる	見せた線画の命名 () 見せない線画の命名 ()
手続き記憶		
(1) 新しい技術の学習課題	目覚まし時計のセットの仕方(「ボタンを押す」「日付を入力する」「時間を入力する」「ボタンを押す」の4段階)を覚えさせ、3回試行させる	3試行目で遂行できた段階 ()

知的障害者の記憶力に関する日常チェックリスト

1	いつも利用するバスの停留所や電車の駅名を忘れる事がある	()	見当識
2	先週の日曜日に何をしたか覚えていない	()	遠隔記憶
3	自分の卒業した学校の名前を覚えていない	()	遠隔記憶
4	昨日着ていた服装を覚えていない	()	近時記憶
5	昨日の夕食のおかずを覚えていない	()	近時記憶
6	昨晚見たテレビ番組の内容を覚えていない	()	近時記憶
7	今朝食べた朝食おかずを覚えていない	()	近時記憶
8	作業室、食堂、近所の店などの慣れ親しんだ場所への行き方がわからなくなる	()	日常; 迷う
9	以前にいったことのある建物の中で迷子になる事がある	()	日常; 迷う
10	自分の家への道筋を忘れてしまい迷子になる事がある	()	日常; 迷う
11	何かを置いた場所を忘れて、あるいは施設内で物をなくしたことがある	()	日常; 置忘れ
12	物がいつも置いてある場所を忘れて、あるいは間違った場所を探した事がある	()	日常; 置忘れ
13	持ってきたものを忘れて、あるいは物を置き忘れて取りに戻らなくてはならない事がある	()	日常; 置忘れ
14	家の人や職員が頼んだ用事を忘れる事がある	()	日常; 約束
15	朝、または昨日いわれて覚えているべきことを忘れることがある	()	日常; 約束
16	自分がしようと言ったことを忘れる事がある	()	日常; 約束
17	日常的な作業や活動の流れを忘れる事がある	()	日常; 約束
18	日常的な作業や活動の変更を忘れる事がある	()	日常; 約束

19	はじめにやりかけていたことを、他の何かに気をそらされて忘れる事がある	()	日常; 動作
20	コップや食器、洗面具などの生活用品の使い方がわからなくなることがある	()	日常; 動作
21	新しい技術を覚える事が困難である(例えばゲームのルール、新製品の使い方を覚える事など)	()	日常; 動作
22	職員や親しい利用者の名前がわからなくなる。	()	日常; 人名
23	家族の名前がわからなくなる	()	日常; 人名
24	以前にあったことのある人の名前が分からなくなる。	()	日常; 人名
25	間違った時間に食事をとりたがったり、作業所へ行こうとすることがある	()	日常; 時間
26	言おうとしている言葉が、すぐに出てこないことがある	()	日常; 会話
27	自分でいったことを忘れて、今言ったばかりのことを繰り返して話すことがある。	()	日常; 会話
28	自分が何について話していたのかを忘れる事がある。	()	日常; 会話
29	二つの数字を言われた順に言える(1・6など)	()	短期記憶
30	三つの数字を言われた順に言える(3・2・7)	()	短期記憶
31	二つの数字を逆順に言える(3・1を1・3と逆から言える)	()	作動記憶
32	三つの数字を逆順に言える(2・9・5を5・9・2と逆から言える)	()	作動記憶
33	持ち物一つ(ペン、ハンカチなど)を本人のしている前で引出の中にしまうと、30分後でも隠した場所を覚えている	()	長期記憶
34	持ち物三つ(ペン、ハンカチなど)を本人のしている前で引出や棚の中にしまうと、30分後でも隠した場所を覚えている	()	長期記憶

生活適応支援チェックリスト

ID

生活適応支援チェックリスト(2004年版)

(ふりがな)

利用者氏名 _____ 男・女 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (満 _____ 才)
西暦

施設名 _____ (入所・通所・更生・授産・その他 _____)

作業班名 _____ (在宅・生活棟名(_____)・グループホーム名(_____))

記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 記入者 _____
西暦

プロフィール

- 1) MA : ()歳 ()ヶ月 最近の検査の結果を記入して下さい
※ 検査名 (1. WISC 2. 田中ビネー 3. 鈴木ビネー 4. その他)
※ 実施年月日 昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
※ 愛の手帳 (A 1・A 2・B 1・B 2)
- 2) 医学的診断名 [知的障害・ダウン症・自閉(自閉傾向)・その他()]
更生相談所の医学判定書の診断名に○をして下さい。その他、診断名がある場合はその他に記入して下さい
- 3) 身体障害の有無
[視覚・聴覚・言語・肢体不自由] 身障手帳 ()種()級 障害名()
- 4) 身長 ()センチ 年 月測定 体重 ()キロ 年 月測定
- 5) てんかん発作の有無
[日に何度も・1日に1~2回・週に1~2回・月に1~2回・ほとんどないが服薬中・ない]
- 6) 健康診断の結果で要治療・検査・経過観察など指摘をうけたもの
血圧検査 [異常なし・高血圧・低血圧・その他()]
血液検査 [異常なし・肝機能障害・高脂血症・高血糖・低血糖・高コレステロール・貧血]
- 7) 服薬の状況 [なし・あり]
(ありの場合、下記に、薬を出している診療科とその診断名か、わからなければその症状を記入してください)
- 8) 診療科 () 診断名か症状 ()
診療科 () 診断名か症状 ()
- 9) 以下の症状で、現在加療中、または過去1年以内に診断を受け、現在経過観察をしているものに○をして下さい
 - 1) 内科 X.なし a.肝機能障害 b.ウイルス性肝炎 c.高血圧 d.貧血 e.糖尿病 f.ぜんそく g.その他()
 - 2) 精神神経科 X.なし a.てんかん b.統合失調症 c.躁うつ d.睡眠障害 e.気分障害 f.その他()
 - 3) 外科・整形外科 X.なし a.腰痛 b.関節症 c.痛風 d.その他()
 - 4) 皮膚科 X.なし a.水虫 b.アトピー性皮膚炎 c.円形脱毛症 d.その他()
 - 5) 眼科 X.なし a.白内障 b.緑内障 c.その他() メガネの使用(有・無)
 - 6) 耳鼻科 X.なし a.アレルギー性鼻炎 b.中耳炎 c.その他()
 - 7) 歯科 X.なし a.虫歯 b.歯槽膿漏 c.その他() 入歯の使用(有・無)
 - 8) 婦人科 ①X.なし a.子宮・卵巣疾患(具体的に:) b.生理不順 c.その他()
②生理の有無 [毎月ある・不順・ない・閉経・その他の理由()]

チェックリストの構成

第一部 生活適応編 「生活」、「作業」、「コミュニケーション」、「余暇・学習」

第二部 基礎能力編 「基礎コミュニケーション」、「基礎学習」

第三部 特別ニーズ編 「加齢に伴う変化」、「不適切な行動」

の三部呼応性、8チェックリストで成り立っています

チェックリストの記入方法

第1部 生活適応編「生活」、「作業」、「コミュニケーション」、「余暇・学習」について

記入方法

I 1) 対象者が以下の行動をとるために、支援者はどのような援助を行っているか、家庭や他の支援者への聞き取りも含め、以下の援助レベルに○を付けて下さい

※自分で確認、聞き取れない項目があった場合

2) どの程度の援助であれば達成できるのか想定して、その項目には、△を付けて下さい

援助レベル		
5	援助なし	その行為・活動は自主的に達成される
4	声かけによる援助	その行為・活動を達成する為に、確認や促しといった声かけの援助が必要
3	モデル呈示	その行為・活動を達成する為に、見本を示す援助が必要
2	身体的援助	その行為・活動を達成する為に、手添えなど、身体に触れる援助が必要
1	全面援助	その行為・活動の全てに置いて、身体的・声かけによる援助が必要
X	身体的に無理	身体的理由で、その行為・活動を達成出来ない

※基本的には、援助の度合いは、5の「一人で達成できる」ことを基準値とし、4→3→2→1と援助の程度によって下げて評価して下さい。

II 対象者に対して、支援の必要がある項目かどうかをお聞きます

必要 対象者に対して、施設で支援をする必要があると考える

必要なし 対象者に対して、当施設の特徴上(授産・更生・通所・入所など)、支援のサービス外と考えチェック項目として必要ない

解説

記入Iでは、対象者がどのくらいの援助を必要としているかのチェックです。Xは、「身体的な理由」がない限り、チェックしないでください。また、△印は、保護者、他の支援者などへ聞き取りが出来ずに、チェックをつけられない場合、支援者がこのくらいと想像してつける場合に使用してください。

記入IIでは、今後の施設別チェックリスト作りの参考となる評価です。施設や対象者の障害程度によって、チェック項目は変わっていくと考えられます。各支援者が考える各設問の必要性を評価して、チェックをしてください。

チェック例

Check1 食事

No	□ 食食用具の使用	I	II
1)	スプーンを使用し、食事をとる(持ち方は問わない)	⑤・4・3・2・1・X	必要 必要なし
2)	フォークを使用し、食事をとる(持ち方は問わない)	⑤・4・3・2・1・X	必要 必要なし
3)	コップを使用し、こぼさず飲む	⑤・4・3・2・1・X	必要 必要なし
4)	箸を使用し、食事をとる(持ち方は問わない)	5・4・3・②・1・X	必要 必要なし
5)	缶ジュースのふたをあける	5・4・3・△・1・X	必要 必要なし
6)	ペットボトルのふたをあける	5・4・△・2・1・X	必要 必要なし
□ 食事のマナー(給食の場面を想定)			
7)	食事の挨拶をするまで待つ	5・4・③・2・1・X	必要 必要なし
8)	食事の挨拶をする(おじぎ、ジューシー、ナナイ)	⑤・4・3・2・1・X	必要 必要なし
9)	食事中、立ち歩かない	⑤・4・3・2・1・X	必要 必要なし
10)	正しい姿勢で食事をとる	⑤・4・3・2・1・X	必要 必要なし
11)	適度な速さで食事する	5・4・3・②・1・X	必要 必要なし
12)	口中に適量を入れる	5・4・3・②・1・X	必要 必要なし
13)	適度によく噛んで食べる	5・4・③・2・1・X	必要 必要なし

この項目は、対象者に、支援の機会がない、または、身体・能力的に支援をしにくく、施設としてサービスする必要がない場合、「必要なし」にチェックをしてください

観察したことがなく、聞き取りも出来ない場合、援助者が想定した結果を△でチェックします

対象者が身体的な理由により、項目達成が困難である場合だけ、このXに○をチェックしてください

実際、その援助をしたり、知っている人から聞き取れた場合、○でチェックします

第2部 基礎能力編「基礎コミュニケーション」「基礎学習」について

記入方法

対象者の様子について、「はい」「いいえ」のうち、最もよくあてはまるものに○を付けて下さい

解説

「基礎コミュニケーション」の「Check1 基本的言語コミュニケーション」では、発音などが不明瞭でも、そのような言葉があれば、「はい」に○を付けて下さい。また、発語がない方は、「いいえ」に○を付けて下さい。

第3部 特別ニーズ編「加齢に伴う変化」「不適切な行動」について

記入方法

I 「加齢に伴う変化」

対象者が、以下の行動・状態に変化が現れているかをお聞きします。変化の判断は、以下を参考にしてください。以下の援助レベルに○を付けて下さい

- A 以前から変化していない。または、身体的・能力的に以前からできていない。(できる・できない問わず変化なし)
(若い頃からみられたものは「A」です)
- B 以前(数年前前)に比べて、変化があった。(過去に変化があった)
- C 最近(数ヶ月前)から、変化が現れてきている。(最近変化があった)

II 「不適切な行動」

以下の不適切な行動について、対象者の「現在の状態」、「頻度」、「機能」についてお伺いします

- A 各項目にあげている行動・状態についての「現在の状態」は下記の選択肢の中でどれが最もよくあてはまりますか。「あ」、「い」、「う」、「え」の中で、最もあてはまるものに一つ○を付けて下さい。

- 「あ」 全くない
- 「い」 過去あったが現在はない
- 「う」 現在ある
- 「え」 最近になって増えてきた

- B Aで「う現在ある、え最近になって増えてきた」にチェックをした項目について伺います。

その不適切な行動の「頻度」はどのくらいありますか。

「B.頻度」の選択肢「ア」、「イ」、「ウ」、「エ」、「オ」の中から最もよくあてはまるものに一つ○を付けて下さい。

- 「ア」 1日に何度もある
- 「イ」 1日に1～2回ある
- 「ウ」 週に1～2回ある
- 「エ」 過去4週間に1～2回ある
- 「オ」 過去6ヶ月に1～2回ある

- C Aで「う現在ある、え最近になって増えてきた」にチェックをした人に伺います。

その不適切な行動の「頻度」はどのくらいありますか。

「C.機能」の中から最もよくあてはまるものに○を付けて下さい。(複数回答可)

- 「a」 自己刺激行動として行う
- 「b」 ストレスがかかったときに行う
- 「c」 情緒不安になったときに行う
- 「d」 イライラしたときはけ口として行う
- 「e」 一人になってしまったときに行う
- 「f」 くせのように行う

生活

I 1) 対象者が以下の行動をとるために、支援者はどのような援助を行っているか、家庭や他の支援者への聞き取りも含め、以下の援助レベルに○を付けて下さい

※自分で確認、聞き取れない項目があった場合

2) どの程度の援助であれば達成できるのか想定して、その項目には、△を付けて下さい

援助レベル		
5	援助なし	その行為・活動は自主的に達成される
4	声かけによる援助	その行為・活動を達成する為に、確認や促しといった声かけの援助が必要
3	モデル呈示	その行為・活動を達成する為に、見本を示す援助が必要
2	身体的援助	その行為・活動を達成する為に、手添えなど、身体に触れる援助が必要
1	全面援助	その行為・活動の全てに置いて、身体的・声かけによる援助が必要
X	身体的に無理	身体的理由で、その行為・活動を達成出来ない

※基本的には、援助の度合いは、5の「一人で達成できる」ことを基準値とし、4→3→2→1と援助の程度によって下げて評価して下さい。

II 対象者に対して、支援の必要がある項目かどうかをお聞きします

必要 対象者に対して、施設で支援をする必要があると考える

必要なし 対象者に対して、当施設の特徴上(授産・更生・通所・入所など)、支援のサービス外と考えチェック項目として必要ない

Check1 食事

No	<input type="checkbox"/> 食事用具の使用	I	II
1)	スプーンを使用し、食事をとる(持ち方は問わない)	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
2)	フォークを使用し、食事をとる(持ち方は問わない)	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
3)	箸を使用し、食事をとる(持ち方は問わない)	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
4)	コップを使用し、こぼさず飲む	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
5)	ペットボトルのふたをあける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
6)	缶ジュースのふたをあける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
<input type="checkbox"/> 食事のマナー(給食の場面を想定)			
7)	食事の挨拶をするまで待つ	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
8)	食事の挨拶をする(おじぎ、ジェスチャーを含む)	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
9)	食事中、立ち歩かない	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
10)	正しい姿勢で食事をとる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
11)	適度な速さで食事する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
12)	口中に適量を入れる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
13)	適度によく噛んで食べる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
14)	三角食べをする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
15)	床にこぼした物を片付ける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
16)	調味料を適量使う	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
17)	食事の後、口元の汚れを直す	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
<input type="checkbox"/> 食事の準備・片付け(GH・家庭での場面を想定)			
18)	テーブルを拭く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
19)	メニューに合った食器を出す	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
20)	茶わんや箸を人数分並べる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
21)	自分の茶わんやコップを見分ける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
22)	ご飯や味噌汁を適量盛り付ける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
23)	食卓の大皿から適量を取り分ける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし

□ 食事の準備・片付け(GH・家庭での場面を想定)		I	II
24)	自発的に食器を流しまで片付ける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
25)	洗剤を適量スポンジにつける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
26)	食器類を、スポンジを使いこすり洗いをする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
27)	泡を残さず、すすぎ洗いをする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
28)	食器を拭く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
29)	食器を所定の食器棚に片付ける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
□ 調理		I	II
30)	湯沸しポットで湯を沸かす	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
31)	トースターでトーストを焼く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
32)	電子レンジで温める	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
33)	やかんで湯を沸かす	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
34)	紅茶やコーヒー等のインスタント飲料を自分で入れる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
35)	包丁を使う	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
36)	目玉焼きを作る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
37)	野菜炒め等、簡単な調理をする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
38)	何種類かの手順のある調理をする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
39)	簡単な朝食の献立を作る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし

Check2 着脱

□ 着脱衣の自立		I	II
40)	前後を間違えずに、衣服を着る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
41)	腕・足・首などを間違えずに衣服に通す	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
42)	通した衣服を引っ張り、体に合わせる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
43)	ファスナーを閉める	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
44)	ボタンをはめる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
45)	ボタンをかけ違いなくはめる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
46)	ベルトを通す	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
47)	ベルトを締める	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
48)	靴下を正しく履く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
49)	ファスナーをはずす	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
50)	ボタンをはずす	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
51)	ベルトをはずす	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
52)	衣服を脱ぐ(脱ぎ方は問わない)	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
□ 着脱衣の調整		I	II
53)	襟を直す	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
54)	衣類に合わせて、上衣のすそを直す	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
55)	汚れ・汗・濡れたことに気付き自ら着替える	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
56)	天候に合わせて、衣類を調整する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
57)	仕事着、普段着、外出着と目的に応じて衣類を選ぶ	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
58)	脱いだ服が裏返しの場合など整える	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
□ 靴の着脱		I	II
59)	いくつもの靴(下駄箱)の中から、自分の靴を間違えずに選ぶ	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
60)	靴の左右を間違えないで履く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
61)	靴のかかとを踏まないで履く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
62)	靴を脱ぐ	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし

Check3 排泄

<input type="checkbox"/> 排泄の自立		I	II
63)	定時排泄により、排泄の失敗をしない	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
64)	便意・尿意をもよおした時にトイレへ移動する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
65)	男女のトイレの区別がつく	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
66)	スリッパに履き替える	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
67)	個室トイレに入る時にノックをする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
68)	個室トイレの扉を閉める	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
69)	排泄のための着脱を行う	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
70)	便器などを汚さずに使用する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
71)	排泄終了の合図をする(排泄が自立している場合は「5」をチェックする)	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
72)	ペーパーを適量使用する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
73)	きれいに拭き取る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
74)	排泄後、水を流す	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
75)	排泄後には必ず手を洗う習慣がある	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし

Check4 身だしなみ

<input type="checkbox"/> 整容		I	II
76)	鏡を見る習慣がある	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
77)	鏡で確認して身なりを直す	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
78)	髪の毛の乱れを整える	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
79)	髭剃りをする(男性のみチェック、女性は「X」をチェックする)	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
80)	化粧をする(女性のみチェック、男性は「X」をチェックする)	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
81)	爪を切る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
82)	耳掃除をする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
83)	定期的に床屋・美容院に行く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
<input type="checkbox"/> 入浴		I	II
84)	入浴後の着替え・入浴道具を準備する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
85)	適切な入浴時間で入浴する(極端な時間の長短がない)	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
86)	ボディソープ、シャンプー、リンスの区別がつく	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
87)	タオルやブラシなどに石鹸をつける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
88)	全身(背中や足先も含む)をこする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
89)	コックを使用する(シャワーとカランの切り替え、温度調節)	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
90)	体の泡を流す	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
91)	シャンプーを使って、頭を洗う	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
92)	頭の泡を流す	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
93)	全身(背中や足先、髪の毛も含む)を拭く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
<input type="checkbox"/> 歯磨き・洗面		I	II
94)	蛇口の水量を調節する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
95)	(手洗い) 石鹸をつける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
96)	手を洗う(こする)	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
97)	(洗顔) 手で水をすくう	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
98)	洗顔をする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
99)	手や顔についた泡をきれいに洗い流す	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
100)	ハンカチ・タオルで手や顔を拭く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし

□ 歯磨き・洗面		I	II
101)	(歯磨き) 自分のコップ、歯ブラシを取る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
102)	歯磨き粉を歯ブラシに適量つける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
103)	全体をきれいに磨く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
104)	口をゆすぐ	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
105)	歯磨き後、口の周りを拭く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
106)	歯ブラシ、歯磨き粉の換える時期がわかる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし

Check5 起床・就寝

□ 起床・就寝		I	II
107)	布団やシーツを敷く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
108)	布団を片付けたり、ベットを整える	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
109)	毎日、夜更かしせずほぼ決まった時間に就床する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
110)	毎日、寝坊することなくほぼ決まった時間に起床する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
111)	夜中に目が覚めても、起き出すことなく朝まで布団にいる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
112)	夜間に尿意を感じたら、夜尿をしないで自らトイレに行く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし

Check6 家事

□ 洗濯		I	II
113)	クリーニングや洗濯をしてもらう為に、衣類を洗濯カゴに入れる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
114)	洗濯機に洗剤を適量入れる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
115)	洗濯機を操作する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
116)	洗濯物を干す	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
117)	洗濯の乾き具合を判断する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
118)	洗濯物を取り込む	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
119)	衣類の隅を合わせ、しわ伸ばしをしたため	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
120)	衣類を所定の場所にしまう	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
□ 清掃		I	II
121)	ほうきで床を隅々まできれいに掃く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
122)	掃除機で床を隅々まできれいに掃除する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
123)	雑巾で床を隅々まできれいに拭く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
124)	棚のほこりに気付き、きれいに拭き取る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
125)	窓ガラスをきれいに拭く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
126)	トイレの便器をブラシできれいにこする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
127)	浴槽をきれいに洗う	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし

□ 家庭生活		I	II
128)	CDやビデオのスイッチ操作をする(再生、停止、取り出し等)	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
129)	音量の調節をする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
130)	エアコンの操作パネル、リモコンの操作する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
131)	気温に合わせて、エアコンの調節をする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
132)	日常使用する物(歯ブラシ、コップなど)を所定の位置にしまう	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
133)	物品を所定の位置に片付ける(整理整頓をする)	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
134)	自分の部屋を自発的に掃除する習慣がある	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
135)	布団を自発的に干す習慣がある	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
136)	ごみをゴミ箱に入れる(分別は問わない)	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
137)	瓶・缶・ペットボトルを分けて捨てる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
138)	ごみの収集日がわかり、ごみの集積所に捨てる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
139)	入・退室時に部屋の照明を点けたり消したりする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
140)	暗くなったら部屋の電気を点ける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
141)	睡眠時に部屋の照明を調節する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
142)	入・退出時、外出時に窓の鍵を閉める	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし

Check7 健康管理		I	II
143)	汗をかいたら顔などをハンカチで拭く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
144)	鼻をかむ	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
145)	帰宅後、手洗い、うがいの習慣がある	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
146)	体調不良を訴える(手段を問わず)	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
147)	体調が悪い時に過度な活動を控える	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
148)	体調が悪い時に食事の量を調整する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
149)	生理の時、ナプキンの交換時期がわかる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
150)	生理の時、ナプキンを取り換える	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし

注)
149)、150)については、女性のみチェックをして下さい。男性は、「X」をチェックして下さい。

作業

I 対象者が以下の行動をとるために、支援者はどのような援助を行っているか、家庭や他の支援者への聞き取りも含め、以下の援助レベルに○を付けて下さい

※自分で確認、聞き取れない項目があった場合

2) どの程度の援助であれば達成できるのか想定して、その項目には、△を付けて下さい

援助レベル		
5	援助なし	その行為・活動は自主的に達成される
4	声かけによる援助	その行為・活動を達成する為に、確認や促しといった声かけの援助が必要
3	モデル呈示	その行為・活動を達成する為に、見本を示す援助が必要
2	身体的援助	その行為・活動を達成する為に、手添えなど、身体に触れる援助が必要
1	全面援助	その行為・活動の全てに置いて、身体的・声かけによる援助が必要
X	身体的に無理	身体的理由で、その行為・活動を達成出来ない

※基本的には、援助の度合いは、5の「一人で達成できる」ことを基準値とし、4→3→2→1と援助の程度によって下げて評価して下さい。

II 対象者に対して、支援の必要がある項目かどうかをお聞きします

必要 対象者に対して、施設で支援をする必要があると考える
必要なし 対象者に対して、当施設の特徴上(授産・更生・通所・入所など)、支援のサービス外と考えチェック項目として必要ない

Check8 作業技術

		I	II
<input type="checkbox"/> 分類技能			
151)	丸と三角のように形のはっきりと違う部品を分類する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
152)	丸と楕円のように形の似た部品を分類する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
153)	赤、青などの色のはっきり違う2色のビーズを色別に分類する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
154)	青、水色などの似た色のビーズを色別に分類する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
155)	大きさの違う2種類の部品を分類する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
156)	大きさの違う数種類の部品を分類する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
<input type="checkbox"/> 判別技能			
157)	アナログ計量器で量の加減をして、定量を計量する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
158)	デジタル計量器で量の加減をして、定量を計量する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
159)	部品・製品の上下の向きを区別する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
160)	部品・製品の上下の重なりを区別する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
161)	部品・製品の裏表を区別する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
162)	製品の仕上がりにムラ無く均一な状態に仕上げる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
163)	作業の誤りに自ら気づき修正する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
<input type="checkbox"/> 操作技術			
164)	ビーズに糸を通す	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
165)	所定の位置に正確にシールを貼る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
166)	ひもを同じ長さに切りそろえる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
167)	ハサミを使用し、まっすぐに紙を切る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
168)	1つの袋に、1つの部品を入れる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
169)	2つの部品の組み立てをする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
170)	5つ以上の部品の組み立てをする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
171)	素材に応じて適切な力加減で作業を行う	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
172)	工具を正しく使用する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
173)	紐でかた結びをする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
174)	水の入った容器をこぼさずに運ぶ	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし

□ 体力を必要とする技能		I	II
175)	荷物(みかん箱大、2kg程度)を両手で持って、30M以上歩く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
176)	姿勢を保持して1時間程度、座り作業を継続して行う	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
177)	姿勢を保持して1時間程度、立ち作業を継続して行う	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし

Check9 作業態度

□ 活動態度		I	II
178)	作業開始まで自分の持ち場で待機する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
179)	作業が始まると自ら作業に取り掛かる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
180)	いつも使用している材料・道具を準備する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
181)	作業手順を示されると、指示された手順通りに行う	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
182)	作業指示に応じて臨機応変に動ける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
183)	決められた作業を最後まで行う	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
184)	分からない場合、職員に質問する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
185)	作業の誤りの指摘に対する修正をする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
186)	提示された作業を終えた時、職員に報告する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
187)	作業を終えた時、次の作業を求める	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
188)	休憩後、自分の持ち場に戻る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
189)	使用した材料・道具を、所定の位置に片付ける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
190)	ほぼ一定した作業効率を維持する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
191)	よそ見をしないで作業を行う	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
192)	私語、独語をしないで作業を行う	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
193)	他の人の邪魔をしないで作業を行う	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
194)	作業中に持ち場を離れない	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
195)	他の人が騒いでいても、影響されずに作業を続ける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
196)	他の人と連携して作業を行う	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
197)	正しい姿勢で作業を行う	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし

コミュニケーション

I 対象者が以下の行動をとるために、支援者はどのような援助を行っているか、家庭や他の支援者への聞き取りも含め、以下の援助レベルに○を付けて下さい

※自分で確認、聞き取れない項目があった場合

2) どの程度の援助であれば達成できるのか想定して、その項目には、△を付けて下さい

援助レベル		
5	援助なし	その行為・活動は自主的に達成される
4	声かけによる援助	その行為・活動を達成する為に、確認や促しといった声かけの援助が必要
3	モデル呈示	その行為・活動を達成する為に、見本を示す援助が必要
2	身体的援助	その行為・活動を達成する為に、手添えなど、身体に触れる援助が必要
1	全面援助	その行為・活動の全てに置いて、身体的・声かけによる援助が必要
X	身体的に無理	身体的理由で、その行為・活動を達成出来ない

※基本的には、援助の度合いは、5の「一人で達成できる」ことを基準値とし、4→3→2→1と援助の程度によって下げて評価して下さい。

II 対象者に対して、支援の必要がある項目かどうかをお聞きします

必要 対象者に対して、施設で支援をする必要があると考える
必要なし 対象者に対して、当施設の特徴上(授産・更生・通所・入所など)、支援のサービス外と見えチェック項目として必要ない

Check10 ソーシャルコミュニケーション

<input type="checkbox"/> 自己理解・表出(方法は問わない)		I	II
198)	自分の生理的欲求を訴える	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
199)	名前を呼ばれて返事をする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
200)	何かしてもらった時に、お礼を言う	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
201)	困った時やできない時に、人に頼る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
202)	自分の誤りに気づき謝る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
203)	自分の都合を考え、他者の要求を断る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
204)	自分の感情(喜怒哀楽)を相手にわかるように伝える	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
205)	その場の状況を相手にわかるように伝える	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
206)	手紙やメールなどの手段を使って相手に何かを伝える	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
207)	相手に応じた敬語を話す	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
208)	むやみやたらと人に頼まずに、行動する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
209)	自分の障害特性(情緒不安、不適切な行動、理解力不足など)を知った上で行動できる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
<input type="checkbox"/> 他者理解(方法は問わない)			
210)	自分に注意が向けられていることがわかる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
211)	禁止や制止の言葉に従う	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
212)	相手の方を注目して話を聞く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
213)	相手の話を最後まで聞く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
214)	自分の要求を伝えるべき相手がわかる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
215)	相手が不快に思うことを言わない	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
216)	話の流れに応じて相づちをうつ	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
217)	タイミングをはかって声をかける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
218)	相手の表情を判断して声をかける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
219)	他者と対立した時に、妥協する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし

□ 他者との関係性		I	II
220)	友達 他者との関わりを積極的に持つ	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
221)	他者との関わりでトラブル無く交流する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
222)	友達との約束を守る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
223)	他者とトラブルになった時に、和解する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
224)	他者と物の貸し借りをする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
225)	頼まれ事に協力する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
226)	自発的に人に協力をする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
227)	休み時間に友達と交流する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
228)	休みの日に友達と交流する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
229)	性 自分の性別がわかり、着替えや排泄等の適切な振る舞いをする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
230)	異性と同性の区別を付けた行動、ふるまいをする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
231)	好きな相手にマナーを守って意思表示する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
232)	交際相手との交遊で時間やマナーを守る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
233)	マスターベーションを時間・場所など適切に行う	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
234)	交際相手と社会通念上適切な性的交渉をもつ	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
235)	集団 集団の規範を守る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
236)	当番・係など自分の役割を果たす	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
237)	他 人権侵害を訴える	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし

注)
233),234)について、行っていない、出来ない場合は、「X」に○を付けて下さい

余暇・学習

I 対象者が以下の行動をとるために、支援者はどのような援助を行っているか、家庭や他の支援者への聞き取りも含め、以下の援助レベルに○を付けて下さい

※自分で確認、聞き取れない項目があった場合

2) どの程度の援助であれば達成できるのか想定して、その項目には、△を付けて下さい

援助レベル		
5	援助なし	その行為・活動は自主的に達成される
4	声かけによる援助	その行為・活動を達成する為に、確認や促しといった声かけの援助が必要
3	モデル呈示	その行為・活動を達成する為に、見本を示す援助が必要
2	身体的援助	その行為・活動を達成する為に、手添えなど、身体に触れる援助が必要
1	全面援助	その行為・活動の全てに置いて、身体的・声かけによる援助が必要
X	身体的に無理	身体的理由で、その行為・活動を達成出来ない

※基本的には、援助の度合いは、5の「一人で達成できる」ことを基準値とし、4→3→2→1と援助の程度によって下げて評価して下さい。

II 対象者に対して、支援の必要がある項目かどうかをお聞きします

必要 対象者に対して、施設で支援をする必要があると考える
必要なし 対象者に対して、当施設の特徴上(授産・更生・通所・入所など)、支援のサービス外と考えチェック項目として必要ない

Check11 余暇

室内活動

		I	II
238)	集団での簡単な活動に参加する(鑑賞会やゲームなど)	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
239)	好きな余暇活動を自発的に選び実行する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
240)	音楽やビデオを自分から見たり聞いたりしようとする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
241)	本や新聞、雑誌を読んだり眺めたりする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
242)	ゲーム・おもちゃ・手芸などで一人で時間を過ごす	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
243)	日記や小遣い帳など学業スキルを使う活動をする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
244)	他者を誘って、余暇活動をする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
245)	新聞・雑誌・テレビなどで世間の情報などに興味を持つ	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
246)	余暇活動を中止し、食事や入浴など指示された行動に移る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし

移動

247)	歩道がある場所では、歩道を歩く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
248)	歩道がない場所では、道路の端を歩く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
249)	自転車や車が近づいてきたことに気づいてよける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
250)	人とぶつからないようによける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
251)	信号機に従って、横断歩道をわたる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
252)	信号機のない横断歩道で、安全にわたる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
253)	一人で階段を昇り降りする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
254)	一人でエスカレーターにスムーズに乗り降りする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
255)	一人でエレベーターを利用する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
256)	集合場所で、他者と一緒に時間まで待つ	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
257)	集団に遅れたり、はぐれたりすることなく移動する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
258)	近所をよく利用する店まで、迷わずに行く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし

□ 交通機関の利用		I	II
259)	券売機で目的地までの切符を購入する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
260)	切符を改札機に通しスムーズに通る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
261)	順番通りに列に並んでバス・電車を待つ	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
262)	目的地までのバス・電車に一人で間違えずに乗る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
263)	目的地で一人でバス・電車から降りる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
264)	必要に応じてバス・電車の時刻表を利用する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
265)	バス・電車内で他の乗客の迷惑になる行動をしない	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
□ 外出			
266)	外出に嫌がらずに参加する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
267)	何らかの情報や経験から外出先を自分で選ぶ	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
268)	外出の予定を立てる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
269)	雑誌等で商品や上映中の映画等の情報を知る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
270)	ハンカチなど、外出時の持ち物を準備する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
271)	雨がふりそうな時に傘を持って出掛ける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
272)	目的に応じた荷物を準備する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
273)	スケジュールに沿った行動をする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
274)	決められた時間に、決められた場所へ集合する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
275)	トイレの場所を探す	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
276)	入場券の必要な施設(映画館・遊園地など)を利用する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
277)	登録・手続きが必要な施設(ボーリング・カラオケ)を利用する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
278)	貸借、期日のルールがある施設(図書館・レンタルビデオ)を利用する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
279)	一人で青年学級等のサークル活動に参加する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
□ 外食			
280)	自動販売機で欲しい物を選ぶ	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
281)	食べたい食事にあわせた店を選ぶ	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
282)	店員に誘導され、席に座る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
283)	メニューを見て、食事を注文する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
284)	店内で他の客の迷惑になる行動をしない	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
□ 買い物			
285)	買いたいものにあわせて、お金を準備する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
286)	購入物品に合わせた店を選択する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
287)	購入したい商品の売り場を探す	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
288)	自分の好みの商品を選ぶ	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
289)	手持ちの金額にあわせて、複数の商品を選択する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
290)	日常使用する物(歯磨き粉、石鹸など)で足りない物を選ぶ	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
291)	レジの場所を探す	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
292)	複数の紙幣・小銭を組み合わせて、お金の支払いをする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
293)	おつりを受け取る	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
294)	買ったものを袋に入れる	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
295)	店内で騒いだり走ったりしない	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし

Check12 学習

□ 実業的学習		I	II
296)	計算機を使用する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
297)	小遣帳を記入する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
298)	電話を受ける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
299)	電話をかける	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
300)	パソコンで文章を打つ	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
301)	メールの操作をする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
302)	インターネットを閲覧する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
303)	お店の割引券やポイントカードなどを活用する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
304)	切手を貼って手紙を出す	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
305)	銀行などのATMを利用する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
306)	医療機関を一人で受診する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
□ 金銭管理			
307)	お金をなくさないように、管理したり落とさないように持ち歩く	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
308)	お金の価値がわかり、大事に扱う	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
309)	小遣い帳をつけてお金の把握をする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
310)	指定された金額の範囲で、1週間の支出を調整する	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし
311)	特定の目的のために、計画的に貯金をする	5・4・3・2・1・X	必要・必要なし

基礎コミュニケーション

対象者の様子について、「はい」「いいえ」のうち、最もよくあてはまるものに○を付けて下さい

Check1 基本的言語コミュニケーション

自発(質問)

- | | | | | | |
|----|--------------------------------------|---|---|---|-----|
| 1) | YES・NOで相手が答えられる質問をする(お茶飲んでもいい?) | は | い | ・ | いいえ |
| 2) | 疑問詞(5W1H)を使った質問をする(どこいくの?) | は | い | ・ | いいえ |
| 3) | 相手の発言が理解できないとき聞き返す(え?何?ん?) | は | い | ・ | いいえ |
| 4) | 相手の発言を確認する為に、発言の一部を聞き返す(お茶をとって。→お茶?) | は | い | ・ | いいえ |

自発(指示)

- | | | | | | |
|----|--|---|---|---|-----|
| 5) | 相手を行動させる為に、指示・命令する(お茶取って) | は | い | ・ | いいえ |
| 6) | 相手に何かを要求する(お茶取ってほしいな) | は | い | ・ | いいえ |
| 7) | 相手に行動させる為に、間接的に指示・命令する(そのお茶冷めたよ) | は | い | ・ | いいえ |
| 8) | 相手がしようとする行動を制止する(そのお茶飲んじゃダメ!) | は | い | ・ | いいえ |
| 9) | 相手がしようとする行動を制止する為に、間接的に禁止する(そのお茶まだ熱いよ) | は | い | ・ | いいえ |

自発(報告)

- | | | | | | |
|-----|----------------------------------|---|---|---|-----|
| 10) | 相手に何かを伝えようとする(お茶飲み終わったよ) | は | い | ・ | いいえ |
| 11) | 自分以外の状況について述べる(このお茶薄いな―[独り言の様に]) | は | い | ・ | いいえ |
| 12) | 相手に知識や説明を自発的に与える(お茶はこうやって入れるんだよ) | は | い | ・ | いいえ |
| 13) | 相手に何かを見せようとする(見て、お茶入れたんだよ。) | は | い | ・ | いいえ |
| 14) | 自分の意志を示している言動がある(お茶飲んだー) | は | い | ・ | いいえ |

自発(提案)

- | | | | | | |
|-----|-----------------------------|---|---|---|-----|
| 15) | 一緒に何かをする誘いや提案をする(一緒にお茶飲もうよ) | は | い | ・ | いいえ |
|-----|-----------------------------|---|---|---|-----|

自発(その他)

- | | | | | | |
|-----|---------------------------------------|---|---|---|-----|
| 16) | 相手の注意を喚起する呼びかけをする(ねえ、～ちゃん、おい) | は | い | ・ | いいえ |
| 17) | 自発的に相手をほめる賞賛をする(すごい、えらい) | は | い | ・ | いいえ |
| 18) | 相手を責めたり、非難する(遅いね、ダメねー) | は | い | ・ | いいえ |
| 19) | 相手と取り交わす礼儀的な決まり文句を言う(おはよう、いただきます) | は | い | ・ | いいえ |
| 20) | かけ声・擬音語・無意味な発話など相手を意識してない発言がある(あー、がー) | は | い | ・ | いいえ |

応答(肯定的応答)

- | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|-----|
| 21) | 相手の働きかけに対して肯定的に回答する(相づちとしての「うん」「ふーん」) | は | い | ・ | いいえ |
| 22) | 相手の言動に対して、確認・同意する(いいよ、そうだね、わかったよ) | は | い | ・ | いいえ |
| 23) | 相手の言動を繰り返す(お茶だよ→「お茶だよ」《エコラリアは含まない》) | は | い | ・ | いいえ |
| 24) | YES・NOの質問に対して答える(そうだよ、いいよ、《「これお茶?」→「お茶」》) | は | い | ・ | いいえ |
| 25) | 5W1Hの質問に対して答える(それ何?→これお茶だよ) | は | い | ・ | いいえ |

応答(否定的応答)

- | | | | | | |
|-----|--|---|---|---|-----|
| 26) | 相手の言動を打ち消す(違うよ、～じゃないよ) | は | い | ・ | いいえ |
| 27) | 相手の指示・命令・提案に対して、拒否・拒絶・防止する(いや、だめ、いい《やらない》) | は | い | ・ | いいえ |
| 28) | 相手の言動に対して、直接否定せずに再考を求める(えー、そうかな) | は | い | ・ | いいえ |

応答(その他)

- | | | | | | |
|-----|--|---|---|---|-----|
| 29) | 相手と取り交わす礼儀的な決まり文句を正しく回答する(おはよう→「おはよう」) | は | い | ・ | いいえ |
|-----|--|---|---|---|-----|

Check2 基本的非言語コミュニケーション

- | | | |
|---|---------------------------------------|-----------|
| <input type="checkbox"/> 自発(与える) | | |
| 30) | 音声言語を伴わないで物などを渡す | は い ・ いいえ |
| <input type="checkbox"/> 自発(接触) | | |
| 31) | 相手や事物に身体的接触をする(触れようとする) | は い ・ いいえ |
| <input type="checkbox"/> 自発(注視) | | |
| 32) | 事物や注意を引きたい相手を見る | は い ・ いいえ |
| <input type="checkbox"/> 自発(接近) | | |
| 33) | 事物や注意を引きたい相手に近づく | は い ・ いいえ |
| <input type="checkbox"/> 自発(発声) | | |
| 34) | 何かを要求するときに声を出す | は い ・ いいえ |
| <input type="checkbox"/> 自発(指さし) | | |
| 35) | 相手や事物の方に向けて指さしをする | は い ・ いいえ |
| <input type="checkbox"/> 自発(その他) | | |
| 36) | 相手に対して上記(30~35)以外のジェスチャーをする | は い ・ いいえ |
| <input type="checkbox"/> 応答(肯定的応答) | | |
| 37) | 相手の言動に対して、直接、その行動をする | は い ・ いいえ |
| 38) | 相手の言動に対して、指さしをする | は い ・ いいえ |
| 39) | 相手の言動に対して、微笑む | は い ・ いいえ |
| 40) | 相手の言動に対して、その方を見る | は い ・ いいえ |
| 41) | 相手の言動に対して、うなづく | は い ・ いいえ |
| 42) | 相手の言動に対して、発声をする | は い ・ いいえ |
| 43) | 相手の言動に対して、姿勢を変える(振り向く) | は い ・ いいえ |
| 44) | 相手の言動に対して、上記(37~43)以外のジェスチャーを行う | は い ・ いいえ |
| <input type="checkbox"/> 応答(否定的応答) | | |
| 45) | 相手の言動に対して、その物・場所から離れることで拒否を示す | は い ・ いいえ |
| 46) | 相手の言動に対して、動かないことで拒否を示す | は い ・ いいえ |
| 47) | 相手の言動に対して、発声をして拒否をする | は い ・ いいえ |
| 48) | 相手の言動に対して、上記(45~47)以外のジェスチャーを使って拒否をする | は い ・ いいえ |

基礎学習

対象者の様子について、「はい」「いいえ」のうち、最もよくあてはまるものに○を付けて下さい

Check1 読み書き

読む

- | | | | |
|-----|---------------------|---|-------|
| 49) | ひらがなで書かれた自分の名前がわかる | は | い・いいえ |
| 50) | ひらがなで書かれた単語が読める | は | い・いいえ |
| 51) | 絵本など、ひらがなの文章が読める | は | い・いいえ |
| 52) | 新聞、雑誌など漢字まじりの文章が読める | は | い・いいえ |
| 53) | 一桁の数字が読める | は | い・いいえ |
| 54) | 二桁の数字が読める | は | い・いいえ |

書く

- | | | | |
|-----|-----------------------|---|-------|
| 55) | ひらがなで自分の名前や限られた単語が書ける | は | い・いいえ |
| 56) | ひらがなでものの名称が書ける | は | い・いいえ |
| 57) | ひらがなで文章が書ける | は | い・いいえ |
| 58) | 漢字まじりの文章が書ける | は | い・いいえ |
| 59) | 一桁の数字が書ける | は | い・いいえ |
| 60) | 二桁の数字が書ける | は | い・いいえ |

Check2 数

数概念

- | | | | |
|-----|-------------------|---|-------|
| 61) | 一桁の2つの数字の大小がわかる | は | い・いいえ |
| 62) | 1～20の数字の順番がわかる | は | い・いいえ |
| 63) | 二桁以上の2つの数字の大小がわかる | は | い・いいえ |
| 64) | 一桁どうしの足し算・引き算が出来る | は | い・いいえ |
| 65) | 二桁どうしの足し算・引き算が出来る | は | い・いいえ |

時間

- | | | | |
|-----|--------------------|---|-------|
| 66) | デジタル時計を読める | は | い・いいえ |
| 67) | アナログ時計を読める | は | い・いいえ |
| 68) | カレンダーで今日の日付・曜日を言える | は | い・いいえ |
| 69) | 午前と午後がわかる | は | い・いいえ |
| 70) | 昨日、今日、明日がわかる | は | い・いいえ |

概念(実際にさわる、実際に見る、聞く・読むといった言葉で理解するなど、手段は問いません)

- | | | | |
|-----|---------------|---|-------|
| 71) | 大きい、小さいがわかる | は | い・いいえ |
| 72) | 多い、少ないがわかる | は | い・いいえ |
| 73) | 長い、短いがわかる(長さ) | は | い・いいえ |
| 74) | 高い、低いがわかる | は | い・いいえ |
| 75) | 左右がわかる | は | い・いいえ |
| 76) | 上のほう、下のほうがわかる | は | い・いいえ |
| 77) | 太い、細いがわかる | は | い・いいえ |
| 78) | 重い、軽いがわかる | は | い・いいえ |
| 79) | 裏、表がわかる | は | い・いいえ |
| 80) | 固い、柔らかいがわかる | は | い・いいえ |
| 81) | 熱い、冷たいがわかる | は | い・いいえ |

加齢に伴う変化

対象者が、以下の行動・状態に**変化が現れているか**をお聞きます。変化の判断は、以下を参考にしてください。

A 以前から変化していない。または、身体的・能力的に以前からできていない。**(できる・できない問わず変化なし)**
(若い頃からみられたものは「A」です)

B 以前(数年前前)に比べて、変化があった。**(過去に変化があった)**

C 最近(数ヶ月前)から、変化が現れてきている。**(最近変化があった)**

No	Check1 視力・聴力・感覚	変化の度合い
1)	視力 以前に比べ、視力の低下が目立ち始めた	A B C
2)	色覚 以前に比べ、色の区別がつきにくくなった	A B C
3)	光覚 以前に比べ、光に対してまぶしがるようになった	A B C
4)	視野 以前に比べ、視界が狭くなった	A B C
5)	聴覚 以前に比べ、聞こえが悪くなった	A B C
6)	臭覚 以前に比べ、においに鈍くなった	A B C
7)	味覚 以前に比べ、味に鈍くなった	A B C
8)	温覚 以前に比べ、温かさや熱さに鈍くなった	A B C
9)	冷覚 以前に比べ、寒さや冷たさに鈍くなった	A B C
10)	痛覚 以前に比べ、痛さに鈍くなった	A B C
11)	触覚 以前に比べ、触られたりしても反応が鈍くなった	A B C

Check2 運動能力

12)	体格 以前(過去一年で)に比べ、体重の増減が5キロ以上あった	A B C
13)	筋力 以前に比べ、例えば(重い荷物がしかり運べなくなった)等筋力が低下している	A B C
14)	巧緻性 以前に比べ、例えば(チャックの開け閉めができないことが多くなった)等巧緻性が低下している	A B C
15)	平衡性 以前に比べ、例えば(階段の昇降時に手すりにつかまることが多くなった)等平衡性が低下している	A B C
16)	敏捷性 以前に比べ、例えば(機敏に身体を動かすことができなくなった)等敏捷性が低下している	A B C
17)	協調性 以前に比べ、例えば(コップをたおす等、手の動きが動作に合わない)等協調性が低下している	A B C
18)	柔軟性 以前に比べ、例えば(靴の履き替えでしゃがまないと手が靴に届かない)等柔軟性が低下している	A B C
19)	速度 以前に比べ、例えば(歩く速度が遅くなった)等歩行や動作の速度が低下している	A B C

Check3 作業能力

20)	意欲 以前に比べ、課題を与えられても励ましや指示がないとやろうとしないことが多くなった	A B C
21)	持続性 以前に比べ、そばにいる人の指示や励ましに関係なく、すぐに課題をやめることが多くなった	A B C
22)	参加状況 以前に比べ、作業や活動を休んだり参加を嫌がったりすることが多くなった	A B C
23)	責任感 以前に比べ、頼まれた仕事もほとんど途中でやめてしまうことが多くなった	A B C
24)	技能水準 以前に比べ、できる作業の種類が減った	A B C
25)	全身の耐久性 以前に比べ、荷物を持ちあげることができなくなった	A B C

Check4 着脱衣・食事・排泄入浴・移動

26)	着脱衣 以前に比べ、身だしなみが雑になることや、着脱に介助が必要となった	A B C
27)	食事 以前に比べ、食事マナーが悪くなったり、食事に介助が必要となった	A B C
28)	排泄 以前に比べ、失禁が多くなったり、排泄に介助が必要となった	A B C
29)	移動 以前に比べ、走ることが困難になったり、歩く時つまずくことが多くなった	A B C

Check5 生活リズム

30)	睡眠 以前に比べ、寝つきが悪いなど睡眠に問題が現れてきた	A B C
31)	睡眠 以前に比べ、睡眠時間の増減やズレ、昼間の居眠りが多くなってきた	A B C
32)	食事 以前に比べ、拒食・食欲不振など、食事に問題が現れてきた	A B C
33)	食事 以前に比べ、食事の量が減った	A B C
34)	排泄 以前に比べ、尿の回数が増えた	A B C
35)	排泄 以前に比べ、少量の尿漏れが多くなった	A B C
36)	活動性 以前に比べ、気力減退が感じられ、行動範囲がせまくなった	A B C
37)	活動性 以前に比べ、外に出るより家にいることを好むようになった	A B C
38)	身体 以前に比べ、風邪をひきやすくなった	A B C
39)	身体 以前に比べ、体力減退が感じられ、すぐに疲れるようになった	A B C

Check6 コミュニケーション

40)	無関心	以前に比べ、他者に自分からかわろうとすることが減った	A	B	C
41)	無関心	以前に比べ、名前を呼んでも返事をするまで時間がかかるようになった	A	B	C
42)	孤立	以前に比べ、集団に場面でも一人で過ごそうとすることが多くなった	A	B	C
43)	干渉を嫌う	以前に比べ、他者からの関わりを嫌がり、何事もマイペースにやりたがる	A	B	C
44)	意思疎通困難	以前に比べ、理解力が衰えて意志の疎通が困難になった	A	B	C
45)	協調性	以前に比べ、自己中心的になり集団の輪を乱す言動が増えた	A	B	C
47)	感情的	以前に比べ、喜怒哀楽の感情を表すことが多くなった	A	B	C
48)	過干渉	以前に比べ、好きな友人につきまったり、余計な世話をやくことが多くなった	A	B	C
49)	消極的	以前に比べ、他者との関わりに消極的になった	A	B	C

Check7 記憶能力

50)	見当識	例えば(自分の下駄箱の場所などを度忘れする)等、時間・場所・人の見当識が低下している	A	B	C
51)	短期記憶	例えば(さっき言われたことを覚えられない)等、短期記憶が低下している	A	B	C
52)	長期記憶	例えば(昔の話ができなくなった・思い出せない)等、長期記憶が低下している	A	B	C
53)	日常置き忘れ	例えば(物がいつも置いてある場所を忘れて、間違った場所を探す)等、置き忘れがある	A	B	C
54)	日常忘れ物	例えば(ハンカチなど普段使う物を忘れて、無くしたりする)等、忘れ物や無くし物がある	A	B	C
55)	日常約束	例えば(日常の作業・活動の流れや約束事を忘れる)等、約束・決まり事を忘れる事がある	A	B	C
56)	日常人名	例えば(職員や親しい友人の名前がわからなくなる)等、人名を忘れる事がある	A	B	C
57)	日常会話	例えば(言おうとしている言葉が、すぐ出てこなくなった)等、会話でつまづく事がある	A	B	C

Check8 性格変化・感情・情緒

58)	わがまま	以前に比べ、頑固や甘えが目立ち始めたり、自己中心的でわがままになった	A	B	C
59)	感情不安	以前に比べ、怒る、興奮する、すねる、泣く等増え、感情の不安定さが目立つようになった	A	B	C
60)	円満	以前に比べ、性格が円満になった	A	B	C
61)	内向性	以前に比べ、感情を表さなくなったり、内向的になり自発性がなくなった	A	B	C
62)	依存性	以前に比べ、依存的になり不平不満を言わなくなった	A	B	C
63)	興味減退	以前に比べ、音楽・テレビ・雑誌など興味のある物に関心が薄くなった	A	B	C
64)	不満	以前に比べ、愚痴・ひがみ・不満が多くなった	A	B	C
65)	こだわり	以前に比べ、物・事柄・時間・予定などにこだわるが多くなった	A	B	C
66)	固執	以前に比べ、取りかかりが遅くなったり、気持ちの切り替えがうまくできなくなった	A	B	C
67)	怯え	以前に比べ、時に理由なく落ち着かなく、怯えたり、そわそわしていることが現れた	A	B	C
68)	被害妄想	以前に比べ、事実より誇張するような被害妄想を言うようになった	A	B	C
69)	強迫症状	以前に比べ、同じことを何度も確かめたり、言ったりする強迫症状がでるようになった	A	B	C

Check9 問題行動(痴呆や精神医学によるもの等)

70)		以前に比べ、食事・服薬・入浴・着替えて強い抵抗や拒絶を示すようになった	A	B	C
71)		以前に比べ、終始外出したがるようになった	A	B	C
72)		以前に比べ、失禁などで汚したり不潔になっても無関心になった	A	B	C
73)		以前に比べ、実際にはないものが見えたりするような幻覚を思わせる発言がでてきた	A	B	C
74)		以前に比べ、つまらない物を集めたり、しまい込んだりするようになった	A	B	C
75)		以前に比べ、人の物を盗むことができた	A	B	C
76)		以前に比べ、他の利用者や職員に対して暴力行為をするようになった	A	B	C
77)		以前に比べ、大声を上げるようになった	A	B	C
78)		以前に比べ、食べたことを忘れ何度も食べることを要求するようになった	A	B	C
79)		以前に比べ、物を投げる、音を立てるような行為がでてきた	A	B	C
80)		以前に比べ、器物を壊したり、衣服を破ったりするようになった	A	B	C
81)		以前に比べ、服を脱いでしまうような行為がでてきた	A	B	C
82)		以前に比べ、食べ物でないものを食べることが現れた	A	B	C
83)		以前に比べ、便所や便器以外に排泄するようになった	A	B	C
84)		以前に比べ、自傷行為をするようになった	A	B	C
85)		以前に比べ、単純な運動や無意味な身振りや同じ文句を繰り返し行うようになった	A	B	C
86)		以前に比べ、あてもなく歩き回る等、徘徊することができた	A	B	C

不適切な行動

これから、チェックをする対象者についてお聞きします。
対象者が示す不適切な行動に対して、援助、介助にどのくらいの配慮を必要としていますか。
以下の項目の中で、一番よくあてはまると思われる番号を右の口欄に記入して下さい。

記入欄

- ① 対象者に常時付き添う必要がある
- ② 対象者が不適切な行動を起こしたときに援助、介助を行う
- ③ 対象者の不適切な行動に対して援助、介助を殆ど行うことがない

以下の不適切な行動について、対象者の「現在の状態」、「頻度」、「機能」についてお伺いします。

A 各項目にあげている行動・状態についての「現在の状態」は下記の選択肢の中でどれが最もよくあてはまりますか。

「あ」、「い」、「う」、「え」の中で、最もあてはまるものに一つ○を付けて下さい。

- 「あ」全くない
- 「い」過去あったが現在はない
- 「う」現在ある
- 「え」最近になって増えてきた

B Aで「う」現在ある、「え」最近になって増えてきた にチェックをした項目について伺います。その不適切な行動の「頻度」はどのくらいありますか。

「B.頻度」の選択肢「ア」、「イ」、「ウ」、「エ」、「オ」の中から最もよくあてはまるものに一つ○を付けて下さい。

- 「ア」1日に何度もある
- 「イ」1日に1～2回ある
- 「ウ」週に1～2回ある
- 「エ」過去4週間に1～2回ある
- 「オ」過去6ヶ月に1～2回ある

C Aで「う」現在ある、「え」最近になって増えてきた にチェックをした人に伺います。その不適切な行動の「頻度」はどのくらいありますか。

「C.機能」の中から最もよくあてはまるものに○を付けて下さい。(複数回答可)

- 「a」自己刺激行動として行う
- 「b」ストレスがかかったときに行う
- 「c」情緒不安になったときに行う
- 「d」イライラしたときはけ口として行う
- 「e」一人になってしまったときに行う
- 「f」くせのように行う

No	A.現在の状態	B.頻度	C.機能
1) 自分の頭や顔など、身体の一部を叩く、かむ	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
2) 自分の爪をはぐ	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
3) 髪の毛を引き抜く	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
4) 傷やかさぶたを引っ掻く、むしる	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
5) 身体の一部に糸やゴムなどを巻き付ける	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
6) 壁などに、自分の頭や顔など、身体を打ち付ける	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
7) 人を叩く、蹴る、つねる、かみつく、突き飛ばす	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
8) 人にめがけて、物を投げる、蹴る	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
9) 器物を破壊する(壊す、投げる、叩く、破るなど)	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
10) 大声を出す	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
11) 奇声を出す	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
12) 泣きわめく	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
13) どんどんと飛び上がる、足踏みをする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
14) 身体を反復的にゆする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
15) 首を反復的に振る	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
16) 頭を反復的に叩く	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
17) 腕を前後に振る	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
18) 手をひらひらとさせる	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
19) ぴよんぴよんと反復的に飛び回る	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
20) 物を持って、反復的にひらひらとさせる	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f

A.現在の状態 「あ」全くない 「い」過去あったが現在はない 「う」現在ある 「え」最近になって増えてきた	B.頻度 (Aで「う」か「え」をチェックした場合、回答) 「ア」1日に何度もある 「イ」日に1~2回ある 「ウ」週に1~2回ある 「エ」過去4週間に1~2回ある 「オ」過去6ヶ月に1~3回ある	C.機能 (Aで「う」か「え」をチェックした場合、回答) 「a」自己刺激行動として行う 「b」ストレスがかかったときに行う 「c」情緒不安になったときに行う 「d」イライラしたときのはけ口として行う 「e」一人になってしまったときに行う 「f」くせのように行う
--	--	---

No	A.現在の状態	B.頻度	C.機能
21) 反復的に自分の髪の毛、体毛を抜く	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
22) 反復的に指をはじく、指をこねる	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
23) 時間に対してこだわった行動がある	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
24) 物に対してこだわった行動がある	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
25) 人に対してこだわった行動がある	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
26) 場所に対してこだわった行動がある	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
27) 異食がある	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
28) 盗食がある	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
29) 偏食がある	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
30) 拒食、飲水拒否がある	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
31) 過食、過飲がある	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
32) 弄食(食べ物で遊ぶ)がある	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
33) 反芻、誤嚥がある	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
34) 口に物を詰め込む	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
35) 昼間に尿失禁をする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
36) 昼間に便失禁をする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
37) 夜間に尿失禁をする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
38) 夜間に便失禁をする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
39) 故意に便塗り、使いじりをする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
40) 頻尿である	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
41) 故意に遺尿、遺糞をする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
42) トイレ以外で、故意に排泄をする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
43) 寝付きが悪い	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
44) 一晩中眠らない	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
45) 夜中に起きて、声を出す	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
46) 夜泣き、かんの虫がある	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
47) 著しく早く起きる	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
48) 夜間徘徊(夢中遊行)がある	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
49) 昼間に居眠りをする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
50) 故意に破衣行為をする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
51) 故意に脱衣行為をする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
52) 衣服を故意にかむ	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
53) 衣服を故意にほどく	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
54) 衣服を故意につけすぎる	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
55) 着衣拒否をする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
56) 性器いじりをする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
57) 性器露出をする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
58) 不適切な場所、時間でマスターベーションをする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
59) 不適切な性交渉を持つ	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
60) 異性をさわる、異性に抱きつく	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
61) 痴漢、ストーカー行為をする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
62) 外見、動作が誘惑的である	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
63) うろうろとする、走り回る	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
64) 手当たり次第に物や壁などにさわる	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
65) じっと座らない	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f

A.現在の状態	B.頻度 (Aで「う」「え」をチェックした場合、回答)	C.機能 (Aで「う」が「え」をチェックした場合、回答)
「あ」 全くない 「い」 過去あったが現在はない 「う」 現在ある 「え」 最近になって増えてきた	「ア」 1日に何度もある 「イ」 1日に1～2回ある 「ウ」 週に1～2回ある 「エ」 過去4週間に1～2回ある 「オ」 過去6ヶ月に1～3回ある	「a」 自己刺激行動として行う 「b」 ストレスがかかったときに行う 「c」 情緒不安になったときに行う 「d」 イライラしたときのはけ口として行う 「e」 一人になってしまったときに行う 「f」 くせのように行う

No	A.現在の状態	B.頻度	C.機能	
66)	おしゃべりが止まらない	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
67)	注意の持続時間が短い	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
68)	突然、外や道路などへ飛び出す	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
69)	そわそわしている	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
70)	動きが遅い	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
71)	動き始めに時間がかかる	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
72)	座ったまま、立ったまま動かない	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
73)	何もしようとしな	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
74)	問いかけ、声かけに反応をしない	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
75)	すぐに怒る	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
76)	いつもいらいらしている	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
77)	人に意地悪をする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
78)	反抗的な言葉を言う、暴言を吐く	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
79)	人の悪口を言う	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
80)	威圧的な態度をとる	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
81)	人と協力をしない	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
82)	順番、時間などの決まりを守らない	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
83)	部屋などに引きこもる	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
84)	頑固である	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
85)	虚言がある	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
86)	嫉妬心が強い	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
87)	過度の注目、賞賛を求める	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
88)	意欲が低下している	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
89)	寡黙、緘黙である	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
90)	時間に遅れたり、さぼったりする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
91)	孤立しようとする、一人でしようとする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
92)	施設や家庭などから逃亡する	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
93)	人の問いかけや声かけを無視する	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
94)	不登校、出勤拒否がある	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
95)	爪をかむ	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
96)	指をしゃぶる	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
97)	歯ぎしりをする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
98)	床につばを吐く	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
99)	盗癖がある	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
100)	火のいたずらをする	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
101)	放浪癖がある	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
102)	ヒステリーの診断を受けたことがある、受けている	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
103)	躁、鬱の診断を受けたことがある、受けている	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
104)	神経症の診断を受けたことがある、受けている	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
105)	統合失調症の診断を受けたことがある、受けている	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f
106)	痴呆の診断を受けたことがある、受けている	あ・い・う・え	ア・イ・ウ・エ・オ	a・b・c・d・e・f

特研版集団適応評定スケール

I. 学習態度(学習や活動への参加度)

NO. 1

A-1.	教室外に出て行ってしまふ。
A-2.	教室内にわずかの間はいられるが、援助がなければいられない。
A-3.	教室内にいることが多いが、何もやることなく、ボーッとしている。
A-4.	教室内にいることが多いが、自分勝手なことのみをやっている。
B-5.	学習活動において、特定の興味のあるもののみに関心を示し参加することがあるが、その他は大部分勝手な行動である。
B-6.	学習活動において、援助すれば授業に参加してくるが、まだ勝手な行動も残っている。
C-7.	先生の話は、時々聞いているが、あてられたり指示されても、反応がなかったり、ズレた発言、勝手な行動がしばしばある。
C-8.	先生の話は聞いており、当てられたり指示されれば、反応ができ、ほぼ応じて発言できる。
C-9.	先生の話は聞いており、時々、自分から適切な挙手をしたり、指示されれば皆の前で発表したり活動できる。
C-10.	授業に参加し積極的に一人で活動ができる。

II 友人関係(集団参加)

NO. 2

D-1.	ほとんど仲間と関係なく、勝手に遊んでいたり、活動している。
D-2.	勝手に活動していることが多いが、他児の動きを見ていたり意識している様子がある。
D-3.	特定の子どもとのみ一緒にいられ、少し遊んだり活動が一緒にできたり、模倣もみられる。
E-4.	集団に参加し、活動に参加したりできるが、まだ入る前にこだわりがみられたり、遊びや活動が長続きしない。
E-5.	集団の活動に参加することに抵抗はないが、自己の欲求がうまく通らないと、ケンカしたり逃げ出したりなどの拒否・逃避的行動になりやすい。
E-6.	集団に参加し、友人との簡単なやりとりが可能になり、遊びや活動がかなり長続きする。しかし、自己中心的でケンカやいざこざ、逃避もおこる。
F-7.	集団に喜んで参加し、かなりやりとりができるが、まだ決まりやルール性の高い活動やゲーム遊びでの、役割を果たして活動することはむずかしい。
F-8.	集団に進んで参加し、ルールをほぼ理解し、活動の中で役割を果たすことができる。
F-9.	集団に積極的に参加し、集会やゲーム遊びなどでかなり役割を正確に果たすことができる。

Ⅲ 教師との対人関係や相互交渉

NO. 3

教師 → 本児

本児 → 教師

G-1. 教師に働きかけられても、全く反応がない。	H-1. 子どもからの教師への働きかけはほとんどみられない。
G-2. 教師の働きかけにまれに反応する(視線をまれに向ける)	H-2. 教師への働きかけがわずかにみられる。(身体接触による要求表現)
G-3. 教師の働きかけに時々反応する。(呼ばれると時々顔を向ける)	H-3. 教師への働きかけも時々あるが、一方的な働きかけがほとんどである。(自分の要求のみを時々示す)
G-4. 教師の働きかけにはかなり反応するが正確に指示通りに従えない。(指示された方に動くが指示理解は未達成)	H-4. 教師への働きかけもかなりみられるが、一方的な働きかけが残っている(かなりの要求や陳述がみられるが、自分本位)
G-5. 教師の指示に従えるが、無視したり、応じないことも時々ある。	H-5. 教師への働きかけは多くなり、一方的なものは少ない。(要求などを示し教師からの応答を待つ)
G-6. 教師の指示にはかなり従うことができる。	H-6. 教師へ働きかけることが可能になり動作によるやりとりができる。
I-7. 教師の指示には正確に従うことができ、動作による単純なやりとりの繰り返しができる。	
I-8. 教師との言葉によるやりとりが、時々展開するようになる。	
I-9. 教師との言葉によるやりとりが、かなり展開するようになる。	

自己概念の初期段階の発達測定尺度(他者評定)

記入年月日 平成 年 月 日

対象児の氏名 _____

記入者氏名 _____

・対象となるお子さんが、達成している場合には○、まだ達成していない場合には×をご記入下さい

1		自分の名前について認識している
2		自分の持ち物と他人の持ち物の区別ができる
3		自分の意志を何らかの手段で他人に伝えることができる
4		自分の名前を伝えることができる
5		過去の出来事などを、「私(僕)が……」と物語ることができる
6		自分自身の簡単なこと(年齢、性別など)を伝えることができる
7		自分自身の内面的なこと(趣味や特技など)を伝えることができる

運動能力アセスメント 測定マニュアル

No.	検査名	検査内容	備考
1)	身長		
2)	体重		
3)	握力	<ul style="list-style-type: none"> 2回試行し、成績の良い方を記入する 	
4)	背筋		
5)	長座前屈		
6)	まりつき (MSCA, No 10-I部)	<ul style="list-style-type: none"> 検査者が課題を実演した後、実施。 2試行し、成績の良い方を得点とする 一回もつかなかった場合 本人から90cm.離れていないところにバウンドした場合、1回とみなす。 	* 得点・ 15回 .. 7点 12-14 .. 6 9-11 .. 5 6-8 .. 4 3-5 .. 3 2 .. 2 1 .. 1 0 .. 0
7)	お手玉受け (MSCA, No 10-II部)	<ul style="list-style-type: none"> 2.7m.の距離からお手玉を受ける 両手, 右手, 左手, それぞれ3試行 片手, 又は両手と, 胸や脇腹で受け取った場合, お手玉を持っていれば成功とみなす 	* 両手が3試行とも失敗で, 中止 * 得点・ 成功 .. 1点 失敗 .. 0点
8)	的あて (MSCA, No 10-III部)	<ul style="list-style-type: none"> 立位の姿勢で, 標的に向かいお手玉を投げる 	* 得点・ 穴 .. 2点 縁 .. 1 以外 .. 0 * 検査器具(1)を使用
9)	動作の模倣	<ul style="list-style-type: none"> ①両足を組む, ②「両手を組む」, ③「両親指をまわす」, ④「円筒のぞき」の4種類の動作を模倣する。 ①~④の動作では, 被験者が反応するまで, 検査者は動作を続ける 	* 動作の例参照
10)	タッピング	<ul style="list-style-type: none"> 1分間実施する。 	* 検査器具(2)を使用
11)	反応	<ul style="list-style-type: none"> 音(1000Hz程度), 光の2刺激に対する反応時間を測定する。 反応は「ボタン押し」「全身跳躍」の2つの型でそれぞれ行う。 	* 検査器具(3)を使用
12)	歩行	<ul style="list-style-type: none"> 10m.の距離を歩行する 「通常の速さ」と「早歩き」の2種類を測定する 	
13)	片足立ち	<ul style="list-style-type: none"> 支持脚以外の身体の一部が, 床に触れたり, 支持脚がずれるまでの時間を測定する 「開眼」と「閉眼」の2種類を測定する 	

検査器具



運動能力アセスメント 記録用紙

検査日： ____年 ____月 ____日

氏 名 _____	(男 ・ 女)
生 年 月 日 _____年 ____月 ____日	_____ 歳
所 属 _____	

No.	項目	結果	備考																									
1)	身 長	() cm.																										
2)	体 重	() kg.																										
3)	握 力 *2回試行し、成績の良い方	(右:) kg. (左:) kg.																										
4)	背 筋	() kg.																										
5)	前 屈	() cm.																										
6)	まりつき *テニスボール大のボールでまりつきをする *2~3回試行し、最も良くできた試行の回数を記入	() 回																										
7)	お手玉受け *検査者は2m.程度の距離から、お手玉を投げる。 *両手、右手、左手、それぞれ3試行行う。 *○→1点, ×→0点	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td>1回目</td> <td>2回目</td> <td>3回目</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>・両手</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>・右手</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>・左手</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">総合計</td> <td>()</td> <td>点</td> </tr> </table>		1回目	2回目	3回目	合計	・両手	()	()	()	()	・右手	()	()	()	()	・左手	()	()	()	()	総合計			()	点	
	1回目	2回目	3回目	合計																								
・両手	()	()	()	()																								
・右手	()	()	()	()																								
・左手	()	()	()	()																								
総合計			()	点																								
8)	お手玉投げ *2m.程度の距離から、的の穴を目標にお手玉を投げる *的の縁・1点, 穴・2点, 以外・0点	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td>1回目</td> <td>2回目</td> <td>3回目</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>・右手</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>・左手</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> </table>		1回目	2回目	3回目	合計	・右手	()	()	()	()	・左手	()	()	()	()											
	1回目	2回目	3回目	合計																								
・右手	()	()	()	()																								
・左手	()	()	()	()																								
9)	動作の模倣 *検査者の動作を模倣するように、ことばなどで指示 *できた場合→1点, できなかった場合→0点	<ul style="list-style-type: none"> ・両足を組む () ・両手を組む () ・両親指をまわす () ・円筒のぞき () 																										
10)	タッピング ・1分間…………… () 回 ・(目安として)30秒…………… () 回																											
11)	反応 *音(1000Hz程度), 光の2刺激に対する反応時間を測定する。 *反応は「ボタン押し」「全身跳躍」の2つの型でそれぞれ行う。	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">音刺激</td> <td style="text-align: center;">光刺激</td> </tr> <tr> <td>・ボタン</td> <td>() 秒</td> <td>() 秒</td> </tr> <tr> <td>・跳躍</td> <td>() 秒</td> <td>() 秒</td> </tr> </table>		音刺激	光刺激	・ボタン	() 秒	() 秒	・跳躍	() 秒	() 秒																	
	音刺激	光刺激																										
・ボタン	() 秒	() 秒																										
・跳躍	() 秒	() 秒																										
12)	歩 行 (10m.) *通常の歩く速さ…………… *走らずに通常よりも速く歩く…	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>普通</td> <td>() 秒</td> </tr> <tr> <td>早歩き</td> <td>() 秒</td> </tr> </table>	普通	() 秒	早歩き	() 秒																						
普通	() 秒																											
早歩き	() 秒																											
13)	片足立ち *支持脚以外の身体の一部が床に触れたり、支持脚がずれるまでの時間を測定	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>開眼</td> <td>() 秒</td> </tr> <tr> <td>閉眼</td> <td>() 秒</td> </tr> </table>	開眼	() 秒	閉眼	() 秒																						
開眼	() 秒																											
閉眼	() 秒																											

IMDチェック：ダウン症乳幼児運動発達チェックリスト

発達水準	(G) gross motor skills	(F) fine motor skills	(H) 障害特性・留意事項チェック
0～1歳 < 0 >	<ul style="list-style-type: none"> ・うつ伏せ姿勢で頭をあげる ・首がすわる ・座位が1分以上保持できる ・寝返りができる ・四つ這い移動をできる ・つたい歩きができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・動くものを目で追って顔を動かす ・棒状の物を少しの間握っている ・指先(親指、人さし指)で小さな物をつまむ ・箱のふたをあける(あげようとする) ・片手に小さい物を2個以上握る ・コップに小さい物を数個人れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・抱き上げたとき、しごみつき力が弱い ・体が柔らかく大人が抱きづらい ・背臥位で手足の動きが少ない ・背臥位で下肢の外転外旋が著しい ・4ヶ月以降の Moro 反射の残存 ・把握反射(手足)の長い残存 ・両腕で引き起こす際頭が残る(head lag) ・蛙状姿勢(フロッグポジション) ・肘の屈曲の欠如 ・足、股間筋の可動域の異常な増大 ・立位未獲得時期、支えて立たせても足を引っ張らない
1～2歳 < I >	<ul style="list-style-type: none"> ・独りで歩くことができる ・しゃがみ姿勢がとれる ・手すりにつかまって階段を昇る ・体操をまねて手足をリズムに合わせて動かす ・20分程、手をつないで外を歩ける ・ボールを上から投げる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車を前後左右に手で押して遊ぶ ・コップを独りでもって飲む ・ひも通しやビーズ通しで1、2個通せる ・積み木やプロップを高く積み ・鉛筆などでぐるぐる描きができる ・ドアの開閉を独りで行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・四つ這い移動より座位のままいざる方が多い ・立位は獲得しても長い時間はつかまり立っていない ・歩ける距離が短く、疲れて座り込む ・高い所を怖がる ・よだれが著しく多い ・口を開けっぱなし ・舌を出していることが多い ・段差や階段を降りる際著しく慎重になる ・柔らかい地面の上を歩くのが難しい ・握る力が弱い ・手先を使う活動が苦手である ・食事時間が著しく長い ・噛み切る力、飲み込む力が弱い ・しゃがみ姿勢で何かをすることができない ・歩行の際、歩幅が短く速度がゆっくり ・縁石を歩く時などバランスをくずしやすい ・動作が全般に遅い ・背中が丸いなど姿勢が悪い ・夏の暑さに弱く、ばててしまう
2～3歳 < II >	<ul style="list-style-type: none"> ・すべり台に独りで昇ってすべる ・両足でピョンピョンとぶ ・ころばずに走る(早歩きではなく) ・後ろ向き歩きができる ・足を交互に出して階段を昇る ・鉄棒に両手でぶら下がれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・縦線・横線を模倣して描ける ・絵本を1頁ずつ正しくめくられる ・はさみを使って紙を直線に切れる ・グーパー(拳開閉)を手遊びに合わせてつくれる ・スプーンでこぼさずに口元に運び食べられる ・コップの水を別のコップに移し替える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポタンをはめたりはずしたりできる ・靴のかかとまできれいにをはける ・じゃんけんのチヨキをつくれる ・のりをつけて紙に貼ることができる ・顔を両手で洗うことができる ・「十」字を正確に視写できる
3～4歳 < III >	<ul style="list-style-type: none"> ・爪先立ち、歩きができる ・合図を聞いて走り出しゴールできる ・片足で静止して、5秒立てる ・直線の上をみださずに歩ける ・前転(でんぐりがえし)ができる ・三輪車をこいで乗れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・はさみで簡単な図形を切り抜く ・お盆に物をのせて運べる ・「3(第2,3,4指を立てる)」を両手で作る ・箸が上手に使える(豆をつまむ) ・○△□を何とか視写できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・「十」字を正確に視写できる ・「3(第2,3,4指を立てる)」を両手で作る ・箸が上手に使える(豆をつまむ) ・○△□を何とか視写できる
4～5歳 < IV >	<ul style="list-style-type: none"> ・片足ケンケン跳びができる ・両脚の膝を曲げて高く飛び上がる ・高さ20cm程の平均台の上を歩ける ・はさむボールをつかまえる ・スキップを正しく行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひものかた結びができる ・紙飛行機などを折れる ・洋服をきちんとたたむ ・タオルをしぼることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・握る力が弱い ・しゃがみ姿勢で何かをすることができない ・歩行の際、歩幅が短く速度がゆっくり ・縁石を歩く時などバランスをくずしやすい ・動作が全般に遅い ・背中が丸いなど姿勢が悪い ・夏の暑さに弱く、ばててしまう
5～6歳 < V >	<ul style="list-style-type: none"> ・その場でボールのドリブル(3回) ・なわとびができる ・プランコに立ってこげる ・目を開けて片足で10秒以上立てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひものかた結びができる ・紙飛行機などを折れる ・洋服をきちんとたたむ ・タオルをしぼることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・握る力が弱い ・しゃがみ姿勢で何かをすることができない ・歩行の際、歩幅が短く速度がゆっくり ・縁石を歩く時などバランスをくずしやすい ・動作が全般に遅い ・背中が丸いなど姿勢が悪い ・夏の暑さに弱く、ばててしまう

SMBチェック:ダウン症学齢児童運動行動チェックリスト

発達水準	(P) 体育・体力つくりなど	(M) 日常生活・作業的活動	(H) 障害特性・留意事項子エック
0～1歳 <0>	<ul style="list-style-type: none"> 四つ這い移動をすることができる 熊歩き(高遠い)による移動ができる つたい歩きができる 独りで歩くことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 指先(親指、人さし指)で小さな物をつまむ 指先(親指、人さし指)で小さな物をつまむ 片手に小さい物を2個以上握る コップに小さい物を数個入れる コップを独りでもって飲む ひも通しやビーズ通しで1, 2個通せる 積み木やブロックなどを高く積む 鉛筆などでぐるぐる描きができる ドアの開閉を独りで行う 	<ul style="list-style-type: none"> 体が異常に柔らかい 足、股関節の可動域の異常な増大 歩ける距離が短く、疲れて座り込む 高い所を怖がる よ口が著しく多い 口を常に開けている 段差や階段を降りる際著しく慎重になる 柔らかい地面の上を歩くのが難しい 握る力が弱い 重い荷物を長時間背負えない 手指先が不器用である 食事時間が著しく長い 固い物を噛み切ることが弱い しゃがみ姿勢で何かをすることができな 歩行の際、歩幅が短く速度がゆっくり 縁石を歩く時などバランスをくずしやすい 動作が全般的に著しく遅い 背中が丸いなど姿勢が悪い マラソンや走ることを嫌う 夏の日差しに弱く、ぼてぼてしてしまう 重い荷物を運ぶことが弱っている 体を便った遊びや運動を嫌う 響の使い方が不器用で不自然である
1～2歳 <I>	<ul style="list-style-type: none"> しゃがみ姿勢がとれる 手すりにつかまっで階段を昇る 体操をまねて手足をリズムに合わせて動かす 20分程、手をつないで歩ける ボールを上から投げける、前に蹴る 跳び箱などにははいあがる 	<ul style="list-style-type: none"> 縦線・横線を模倣して描ける 本を1頁ずつ正しくめくられる はさみを使って紙を直線に切れる グーパー(拳開閉)を手遊びに合わせてくれる スプーンでこぼさず口元に運び食べる コップの水を別のコップに移し替える ボタンをはめたりはずしたりできる 靴のかかとまできれいににはける じりやけんの手ヨキをつくれる のりをつけて紙に貼ることができる 顔を両手で洗うことができる 「十」字を正確に描写できる 	
2～3歳 <II>	<ul style="list-style-type: none"> トランポリン等でピョンピョンとぶ ころばずに50m走る 後ろ向き歩きができる 浅い水の中を歩いたり遊んだりする 鉄棒に両手でぶら下がれる 何とか横転ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 頭を手で押さえる等の動作模倣ができる 合図を聞いて走り出しゴールできる 片足で静止して、5秒立てる 直線の上をはみださずに歩ける 前転ができる 動物の模倣で飛び等の運動をする 	
3～4歳 <III>	<ul style="list-style-type: none"> 片足ケンケン跳びができる 両脚の膝を曲げて高く飛び上がる 高さ20cm程の平均台の上を歩ける はさみで紙を切ることができる スキップを正しく行う 鬼ごっこで止まったり方向を変えて走る 	<ul style="list-style-type: none"> はさみで簡単な図形を切り抜く お盆に物をのせて運べる 「3(第2,3,4指を立てる)」を両手でつくる 箸が上手に使える(豆をつまむ) ○△□を何とか描写できる 	
4～5歳 <IV>	<ul style="list-style-type: none"> 鬼ごっこで止まったり方向を変えて走る その場でボールのドリブル(3回) なわとびができる バットやラケットでボールを打てる 平均台の上で後ろ歩きができる 目を開けて片足で10秒以上立てる ジャンダルジムに昇って追いかけっこする 	<ul style="list-style-type: none"> ひものかた結び、蝶結びができる ジューズ缶のふたをあける 洋服をきちんとたたむ 雑巾、タオルをしぼることができる のこぎりで木を切れる 	
5～6歳 <V>	<ul style="list-style-type: none"> 補助輪なしの自転車に乗れる 3m程離れてキャッチボールできる 野球やポトボール等のゲーム遊びができる 馬跳びをする 鉄棒に足をかけて逆さまにぶら下る 走って40cm程の台の上に飛び上がる 閉眼で左右片足で10秒以上立つ 5m離れて小ボールを片手捕球できる 2.5mの距離で25cm四方の的に投げあてる 	<ul style="list-style-type: none"> 36枚のカードを1分以内に机上の4カ所に分類、積む 菱形(◇)の視写が正しくできる 長い曲線をきれいになぞり書きができる 折り紙で鶴が折れる カッター、包丁等の刃物を注意して扱える 左右の手で狐の形を描きつくれる かなづちやドリライパーが正しく使える 掃除機やカセット(CD,FD,ツッキ)の電化製品を扱える 	
6～7歳 <VI>			
7歳以上 <VII>			

SMFテスト

: ダウン症児童期運動能力テスト

体 格	身長, 体重, (ローレル指数)
筋 力	握力, 背筋力
平衡性	線上歩行, 平均台歩行, 片足立ち(開眼)(閉眼)
敏捷性	単純反応時間, 全身跳躍反応時間
柔軟性	長座前屈
速 度	50m走
巧緻性	タッピング計測<1分>, 線なぞり書き(直線)(曲線), 迷路指たどり(単純)(複雑)
協調性	両膝曲げ跳躍, 爪先立ち歩行, まりつき(回数), 的あて, ボール受け, 拳開閉, リズム拍打ち

AMBチェック:ダウン症成人運動行動チェックリスト

(P) 身体全体による運動・動作	(M) 手腕による運動・作業的行動	(H) 障害特性・留意事項チェック
<ul style="list-style-type: none"> ・這う移動ができる ・熊歩き(高遠い)による移動ができる ・独りで歩くことができる ・手すり等につかまって階段昇降ができる ・しゃがみ姿勢がとれる ・つかまらずに階段の昇降ができる ・ころばず立ち止まらずに50m走る ・後ろ向き歩きができる ・段差のある所から飛び降りる ・30分以上休まず歩ける ・10分以上のマラソン(走る)ができる ・体操をまねて手足をリズムに合わせて動かす ・ボールを上から投げる ・ボールを前に蹴る ・トランポリン等でピョンピョンとぶ ・ほぼ見本通りに体操を行う ・両脚の膝を曲げて高く飛び上がる ・はさむボールをつかまえる ・スキップを正しく行う ・なわとびができる ・バットでボールを打てる ・自転車に乗れる ・野球やバスケットボール等の集団ゲームを行える ・鉄棒に両手でぶら下がれる ・お盆に物をのせて運べる ・重い荷物をしっかり持って運べる ・数個のものを抱えて落とさずに階段昇降ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・指先(親指、人さし指)で小さな物をつまむ ・片手に小さい物を2個以上握る ・本を1頁ずつ正しくめくれる ・ひも通しやビーズ通しができる ・任ジュースのふたをひとりであける ・ボタンをはめたりはずしたりできる ・「3(第2,3,4指を立てる)」を両手でつくる ・ひものかた結び、蝶結びができる ・洋服をきちんとたたむ ・食器などをきれいに洗うことができる ・ドアの開閉を独りで行う ・雑巾、タオルをしぼることができる ・のりを付けて紙に貼ることができる ・はさみを使って紙を直線に切れる ・はさみで簡単な図形を切り抜く ・物を包装紙で包むことができる ・箸が上手に使える(豆をつまむ) ・ホッチキスが正しく使える ・のこぎりで木を切れる ・文字の複写が正しくできる ・カッター、包丁等できれいに切ることができる ・かなづちやドライバー、ペンチ等が使える ・掃除機やカセットデッキ(CDデッキ)等の家庭電気製品を扱える ・パチンコ(ゲーム)遊びをする ・トランプやカード遊びをする ・パソコンやワープロで文字などを打つ ・テレビゲームで遊ぶ ・単純な機械操作を伴う労働ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・肥満傾向である ・扁平足である ・風邪などの病気をしがちである ・体が異常に柔らかい ・前屈などで体が固い印象がある ・足、股間筋の可動域の異常な増大 ・歩ける距離が短く、疲れて座り込む ・歩行の際、体が左右に揺れる ・高い所を怖がる ・よだれが著しく多い ・口を常に開けている ・段差や階段を降りる際著しく慎重になる ・柔らかい地面の上を歩くのが苦手 ・握る力が弱い ・重い荷物を長時間背負えない ・手先が不器用である ・食事時間が著しく長い ・固い物を噛み切る力が弱い ・しゃがみ姿勢で活動ができにくい ・歩幅が異常に短く、刻み歩行をする ・縁石を歩く時などバランスをくずしやすい ・動作が全般的に著しく遅い ・背中が丸いなど姿勢が悪い ・マラソンや走ることが嫌い ・夏の暑さに弱く、ばててしまう ・肉体労働(運搬など)を嫌がる ・体を使った遊びや運動が嫌い ・箸の使い方が不器用で不自然である

AMFテスト

: ダウン症成人運動能力テスト

体 格	身長, 体重 (ローレル指数)
筋 力	握力, 背筋力
平衡性	片足立ち(開眼)(閉眼)
敏捷性	単純反応時間, 全身跳躍反応時間
柔軟性	長座前屈
速 度	普通歩行, 最大歩行(早歩き)〈10m〉
巧緻性	タッピング計測〈1分〉
協調性	まりつき(回数), 的あて, ボール受け

利用者アセスメント要約表

利用者氏名		生年月日	
記載日		担当	

項目	対応レベル	主な課題
領域1・生活環境		
1. 住環境		
2. プライバシー		
領域2・日常生活動作(ADL)		
1. 食事		
2. 排尿		
3. 排便		
4. 着脱		
5. 入浴		
6. 整容		
7. 移動		
8. 起居動作		
9. 睡眠		
領域3・健康/医療		
1. 投薬状況		
2. 疾病状況		
3. 口腔		
4. 栄養管理		
5. 目・耳の状況		
6. 皮膚の状況		
7. 麻痺/拘縮		
8. 生理		
9. 疾病への理解		
領域4・コミュニケーション		
1. 意思表示の状況		
2. 意思表示の手段		
3. 意思伝達の理解		
領域5・日中活動/余暇/社会参加/経済状況		
1. 日中活動		
2. 余暇活動		
3. 社会参加		
4. 経済状況		
領域6・社会生活スキル		
1. 家事		
2. 社会生活スキル		
3. 地域生活		
4. 対人関係		
5. 行動問題		
領域7・家族とのつながり		
1. 家族との交流		
2. 家族の理解と対応		